

令和4年度

農業水路等長寿命化・防災減災事業  
穂高地区 青木花見工区 水路改修工事  
金抜設計書

当初

地 区 名	穂高 地区
工 区 名	青木花見 工区
所 在 地	安曇野市 穂高
事業主体名	安曇野市

**令和4年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業  
穂高地区 青木花見工区 水路改修工事  
特別仕様書**

**第1章 総則**

この工事の施工に当たっては、  
長野県農政部制定の「土木工事共通仕様書（最新版適用）」（以下「共通仕様書」という）  
「土木工事現場必携（最新版）」、「設計変更ガイドライン（最新版）」、  
「土木工事施工管理基準（最新版）」を適用する。  
同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

**第2章 工事内容**

**1. 目的**

この工事は、表題の事業の一環として「水路」を改修するために行うものである。

**2. 工事場所**

閲覧設計書に記載のとおり

**3. 工事概要**

この工事の概要は次のとおりである。

工事施工延長                      水路工改修 L=        447        m

主要工事内訳

- ・ BF-600型 (No. 5+18.0～No. 13)    L=142.0m
- ・ BF-700型 (No. 15～No. 33)    L=304.9m

**4. 工事数量**

別冊金抜設計書による。

**第3章 施工条件**

**1. 工程制限**

該当なし。

**2. 部分引渡し**

該当なし。

**3. 工事期間**

工期は                      契約日                      ～                      令和 5年 3月 24日                      までとする。

**4. 協議関係**

- ・ 本工事の着工前に「発注者、及び、東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)」との協議を行うこと。  
また、工事概要を書面にて関係者等へ周知すること。

**5. JR大系線近接工事**

- ・ 本水路は、JR大系線用地と近接工事となり、工事申請を「安曇野市」で行っている。  
施工に当たっては、発注主体である「安曇野市」及び「JR東日本」を交え協議を行うこと。
- ・ 施工にあたっては列車見張員を配置すること(当初設計では、41人計上)
- ・ 施工にあたっては、JR近接工事のため及び工期の短縮を図るため、2班体制で行うこと。

## 第4章 現場条件

### 1. 土質

粘質土を想定している。

### 2. 第三者に対する処置

施工に際しては、振動、騒音、安全対策に十分留意しなければならない。

### 3. 公道に隣接する工事

公道の利用または公道に隣接する場合にあたっては、標識・安全施設の設置、工事全般の安全管理上の監視等を十分実施して、安全対策に万全を期すなど、工事の施工にあたっては、これを遵守しなければならない。

### 4. 建設副産物の処理

別添1のとおり。

### 5. 関連工事

該当なし。

### 6. 関係機関との調整

別紙-1 「工程関係」 のとおり。

## 第5章 仮設

### 1. 指定仮設 【仮設計画図参照】

- ・ 仮設進入路工  $B=5.0\text{m}$   $L=24.0\text{m}$ 、4箇所  $(6.0+8.0+5.0+5.0)=24.0\text{m}$
- ・ 敷鉄板 1回使用  $A=1,452.0\text{m}^2$  ( $W=3.0\text{m}$ )
- ・ 敷鉄板は仮設計画図を参照し設置し、工事完了後には機械等により耕起を必ず行い、原形復旧をすること。

## 第6章 施工

### 1. 一般事項

#### (1) 水準点

この工事の水準点は、図面に示すKBMを使用しなければならない。

#### (2) 検測又は確認

監督員と打ち合わせをし、必要に応じて確認しなければならない。

### 2. 土工

共通仕様書「第1編第3章第3節」による。

### 3. 水路工

共通仕様書「第2編第5章」による。

### 4. 工事用材料（本体・付帯工・構造物他）

既製品の使用にあたっては、施工協議後速やかに使用承認を得てから設置すること。

本工事で使用する主要材料の規格及び品質、また監督員が指示する材料については、試験成績書等を提出し承認を得なければならない。

### 5. 施工段階における監督員の確認

監督員による段階確認は、共通仕様書「第1編第1章第1節1-1-27監督員等による確認及び立会等」に示す時期とし、書面あるいは連絡により依頼しなければならない。

共通仕様書以外の段階確認は、以下に掲げる工種、及び、施工段階において実施するものとする。

工種	確認	確認時期・頻度	備考
測点の確認	施工範囲の確認	契約後	起終点確認
丁張	法線・計画高の確認	丁張設置前後	適宜
本体工	水路計画高等の確認	監督員の指示による	適宜
仮設工	実延長の確認	監督員の指示による	適宜
その他	監督員が定めるもの	監督員の指示による	適宜

#### 6. 施工時の注意事項

1. JR近接工事のため、JR用地内への侵入は禁止とする。  
問題が生じた場合は、監督員と協議すること。

### 第7章 排出ガス対策型建設機械の使用

別添3のとおり。

### 第8章 施工管理

#### 1. 施工管理

共通仕様書「第1編第1章第1節1-1-34施工管理」による。

#### 2. 主任技術者の資格

主任技術者等は別添4「土木一式工事」における主任技術者又は監理技術者の  
資格要件の(1)又は(3)の資格を有するものでなければならない。

### 第9章 条件変更の補足説明

この工事の施工にあたり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、  
及び、設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は次のとおりである。

1. 排出ガス対策型建設機械を使用しない場合

### 第10章 現場環境改善費

- (1) 現場環境改善費の内容は、別添5「現場環境改善費項目」のとおりとし、原則として計上項目のそれぞれから1内容以上選択し合計5つの内容を実施することとする。ただし、地域の状況・工事内容により組合せ、実施項目数及び実施内容を変更しても良い。詳細については、監督員と協議実施する。
- (2) 以下に示す内容において、受注者は、具体的な実施内容、実施期間を施工計画書に含めて監督員に提出するものとする。
- (3) 受注者は、工事完成時に現場環境改善費の実施状況が分かる写真を監督員に提出するものとする。

### 第11章 予想出来形数量の提出

受注者は、遅くとも工期の「1ヶ月前」までに予想出来高を取りまとめ、  
監督員に提出しなければならない。

### 第12章 定めなき事項

この仕様書に定めのない事項または、この工事の施工にあたり疑義が生じた場合には、  
必要に応じて監督員と協議するものとする。

### 第13章 その他

#### 1. 工事区域内外の安全について

労働基準法、その他関係法規を厳守し、安全対策に万全を期すこと。

また、資材の仮置場での事故の発生のないように、十分な配慮を行うものとする。

#### 2. 施工計画書の作成について

契約後速やかに起工測量を行い、現場を確認し早期に提出、協議を行うものとする。

#### 3. 主任技術者又は監理技術者の資格要件

別添4のとおり。

## 別添1. 建設副産物に関する取り扱い

### 1. 共通事項

- (1) 「再生資源の利用促進に関する法律」等に基づき、本工事に係る再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出すること。また、工事完成後速やかに上記計画の実施状況（実績）について、再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書を作成し、竣工書類とともに提出すること。

なお、これらの記録は工事完成後1年間保存しておくこと。また、各様式については、監督員の指示に従うこと。

- (2) 建設産業廃棄物の収集運搬及び処分について

ア 建設産業廃棄物の収集運搬及び処分を委託する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と必ず書面による委託契約を締結すること。

イ 処理委託は、収集運搬業者と処分業者のそれぞれとの委託契約書を締結すること。

ウ 産業廃棄物処理業の許可証を確認し、委託契約書に許可証の写しを添付すること。

（扱える産業廃棄物の種類、処理方法及び許可の有効期限を確認していること。）

エ 発注者から直接工事を請け負った元請業者が排出事業者となり、元請業者が建設廃棄物の処理責任を負う。

オ 建設廃棄物の収集運搬及び処分を委託する場合は、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付すること。

カ 上記アからオについては、竣工検査までに監督員の確認を受け、竣工書類に以下の書類を添付すること。

①収集運搬と処分それぞれの委託契約書の写し（請負業者が両方の許可を持つ場合はひとつ）

②委託契約書に添付された許可証の写し

③マニフェストのA票、B2票、D票、E票の写し（D票、E票については、後日であっても差し支えない。）

④再資源化施設、最終処分場との関係を示す写真

キ D票がマニフェストを交付した日から90日以内、E票がマニフェストを交付した日から180日以内に送付されていない場合は、地域振興局環境課又は県生活環境部廃棄物監視指導課に報告すること。

ク 請負者が施工計画書に記載又は整備すべき事項

処理方法	1 再資源化 2 破碎処理 3 焼却処理 4 埋立処分場 5 その他			
処理委託先 （業者）	業者名		許可番号	
	住所			
収集運搬委託先 （委託の場合）	業者名		許可番号	
	住所			
その他	資源化の方法など			

#### ・添付書類

- 1) 処理先の許可証の写し及び収集運搬業者の許可証の写し（収集運搬を委託する場合）
- 2) 請負者と処理又は運搬業者との契約書の写し
- 3) 処理業者の所在地及び運搬ルート

## 2. 分別解体等及び再資源化等の条件

本工事の施工において生じる発生土・特定建設資材及び産業廃棄物の処分については、  
下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

(1) 建設発生土（残土及び不足土） 仮設進入路の不足土はL=2.0Kmを想定している。

不足土(購入土)	指定	地区名	共和興業	運搬距離	6.0	km
----------	----	-----	------	------	-----	----

条件 1. 指定の場合、地区名及び運搬距離を明示する。

2. 距離指定の場合、運搬距離のみ記入し、設計変更の対象とする。

(2) 特定建設資材（建設リサイクル法）

種別	処分条件	処理場名（運搬距離は金抜設計書参考明示）
<input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	再利用	
<input type="checkbox"/> セメント・コンクリート塊	再利用	
<input checked="" type="checkbox"/> 無筋Co		勝野建材
<input type="checkbox"/> 鉄筋Co		
<input checked="" type="checkbox"/> 二次製品		勝野建材
<input type="checkbox"/> 建設資材木材		

【備考】 1. 設計上の「処理施設」を明示する。

2. 積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

3. 上記条件明示より下回る場合は、変更の対象とする場合がありえる。

4. 現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項については変更の対象とする。

(3) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針）

種別	処分条件	処理場名（運搬距離は金抜設計書参考明示）
<input type="checkbox"/> 木くず(伐根・伐採材)	再利用	
<input type="checkbox"/> 汚泥		
<input type="checkbox"/> 廃プラスチック		
<input checked="" type="checkbox"/> 混合廃棄物		

### 別添 3. 排出ガス対策型建設機械の使用

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、

「土地改良事業等請負工事標準機械経費算定基準」（昭和58年2月28日付58構改D第147号）で示す、排出ガス対策型建設機械の使用するものとする。

排出ガス対策型建設機械を使用できない場合でも、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の装着黒煙浄化装置の開発」または、これと同等の開発目標で実施された、民間開発建設技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することで、排出ガス対策型と同等とみなす。

ただし、これにより難しい場合は監督員と協議すること。

排出ガス対策型建設機械あるいは装着黒煙浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

#### 対象機種一覧

一般工事用建設機械	備 考
バックホウ、ローラ類、発動発電機等	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw～260kw）を搭載した建設機械に限る。

【備考】 道路運送車両の保安基準に排出ガス基準を定められている自動車の種別で、有効な自動車検査証の交付を受けているものを除く。

#### （注）協議の対象となる場合

- ① 工事地域周辺の市町村にあるリース会社に排出ガス対策型建設機械、あるいは同等な建設機械の在庫がない。
- ② 工事地域周辺の市町村にあるメーカーの販売店から排出ガス対策型建設機械、あるいは同等な建設機械を調達するのに大幅な時間がかかる。  
等を証明する書類を提出した場合に限る。

別添 4. 「土木一式工事」における主任技術者又は監理技術者の資格要件

番号	資 格 の 内 容
(1)	<p>建設業法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち検定種目を一級の建設機械施工、若しくは、一級の土木施工管理とするものに合格した者、又は同法第15条第2号ハの規定により国土交通大臣の認定した者</p>
(2)	<p>技術検定のうち、検定種目を一級、二級の建設機械施工、若しくは、一級、二級の土木施工管理とするものに合格した者、又は建設業法第15条第2号ハの規定により国土交通大臣の認定した者</p> <p>ただし、監理技術者については、一級の建設機械施工、若しくは、一級の土木施工管理とするものに合格した者、又は同法第15条第2号ハの規定により国土交通大臣の認定した者</p>
(3)	<p>技術士法（昭和32年法律第124号）による二次試験のうち、技術部門を建設部門、農業部門（選択科目を「農業土木」とするものに限る。）又は林業部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る。）とするものに合格した者</p>



## 別添 5 現場環境改善費項目

計上項目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	①用水・電力等の供給設備
	②緑化・花壇
	③ライトアップ施設
	④見学路及び椅子の設置
	⑤昇降設備の充実
	⑥環境負荷の低減
Ass営繕関係	①現場事務所の快適化（女性用更衣室、快適トイレの設置を含む）
	②労働者宿舎の快適化
	③デザインボックス（交通誘導警備員待機室）
	④現場休憩所の快適化
	⑤健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	①工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）
	②盗難防止対策（警報器等）
	③避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	①地域対策費（農家との調整、地域行事等の経費を含む）
	②完成予想図
	③工法説明図
	④工事工程表
	⑤デザイン工事看板（各工事PR看板含む）
	⑥見学会等の開催（イベント等の実施含む）
	⑦見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営
	⑧パンフレット・工法説明ビデオ
	⑨社会貢献

（参照）工事における現場環境改善費の積算要領  
<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/genbakankyokaizenhi.html>

## 工 程 関 係

1)本工事に近接ないし競合して下記の工事が施工されるので、請負者間相互の連絡・調整を密にして施工すること。

なお、連絡及び調整事項の内容を監督員に報告すること。

発注者	工事名	工期または工事内容等	影響箇所	備 考
<p>【※】特別仕様書 第4章 現場条件のとおりとする。以下は「追加事項」を記載する。</p> <p>・施工前に、監督員を交え、協議を行い、調整を行うものとする。</p>				

(2)本工事において、施工期間及び施工方法等下記の制約条件があるため適切な処置を行うこと。

制約条件	位置等	制約条件及び内容
数量、図面との 不一致箇所協議	本工事区間内	契約後現地調査を実施し、数量及び図面との整合を図る。 不一致箇所があれば協議書に図面、写真等を添えて協議すること。
予想出来形展開図 の提出	本工事区間内	受注者は、工期の「1ヶ月前」までに予想出来高を取りまとめ、 出来高を提出すること。
80%出来形展開図 の提出	本工事区間内	監督員の指示による。
その他	本工事区間内	本地区水路は、JR近接工事である。 施工に関しては「JR東日本」との協議を行っている。 問題が生じた時は、随時、協議をすること。

(3)本工事において、下記のとおり関係機関及び地域住民との協議をするものとしている。

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 農林部 耕地林務課	本工事に関すること及 びその他必要事項	地元対応に関すること。 既設構造物の修繕、改修に関すること。	契約後即対応のこと。 また、工期内とする
安曇野市 都市建設部 建設課	その他 必要事項	既設構造物の修繕、改修に関すること。	関係課と協議の上
安曇野市 都市建設部 監理課	通行制限方法	工事区間内全面通行止め。 予告看板、迂回路看板等の設置	工期内とする
安曇野市教育委員会	小中学校の 通学路確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする
関係区長	工事内容、 工事期間、 迂回路などの説明	上記と同様	契約後即対応のこと
工事区間内住民	上記と同様	関係機関指導のもと (ただし、無理難題が出される場合には、 丁寧に断ることも必要であり、 監督員との協議をすること。 特に工事内容・金額に関わりそうなことは、 忘れずに協議すること)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする
工事区間内農地所有者 又は管理者及び工事区 間内への様々な物の搬 出、搬入など	稲刈り時期、その他収 穫時期、工事の進捗及 び耕作上支障となること の協議	上記と同様	上記と同様
周辺店舗など	駐車場、 案内看板などの協議	関係機関指導のもと(ただし、無理難題が出され る場合には、丁寧に断ることも必要であり、監督 員との協議をすること。特に工事金額に関わりそ うなことは忘れずに協議すること)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする
支障工作物	特別仕様書内 記載のとおり	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと
その他	必要に応じて 対応すること	上記と同様	苦情、要望など 即対応すること。 また、工期内とする

## 土木工事における提出書類一覧表

### 請負契約後提出書類

種 類		内 容		頻 度
1	着手届			契約毎
2	工程表			契約毎
3	現場代理人、主任(監理)技術者の通知	技術者経歴書の添付 資格証の写し添付		契約毎
4	技術者報告書	2,500万円以上の工事		契約毎
5	監理技術者の資格証の写し	下請金額3,000万円以上になる場合		契約毎
6	社会保険証の写し	現場代理人、主任技術者及び監理技術者のもの		契約毎
7	建退協掛金収納書の提出	800万円以上の工事では契約後1ヶ月以内に提出する。		契約毎
8	工事カルテの提出	工事金額が500万円以上の場合、契約後10日以内にJACIC((財)日本建設情報総合センター)のコリズシステムへ登録し、その「工事カルテ受領書」の写しを提出する。		1回
9	下請負人通知書	下請契約がある場合は、その金額にかかわらず報告すること。 (下請の理由を明確に記入)	各写しを協議書に添付すること。(契約書・請書等、下請業者の資格証、下請現場責任者の資格証等)	必要回数
10	施工体制台帳及び施工体系図	下請契約がある場合には、全ての工事において作成し提出する。		契約毎
11	前金払請求書	請負業者において前払い金が必要な場合		1回
12	その他	発注者及び請負業者で必要なもの		必要回数

## 土木工事における提出書類一覧表

### 工事着手前提出書類

種 類		内 容		頻 度
1	工事施工計画書	詳細は別紙		契約毎
2	工事施工協議書	起工測量結果表等	工事着手後直ちに工事測量を行い、結果を監督員に提出する。	契約毎
		予想出来型展開図	設計図書を基に起工測量結果を考慮して予想出来形展開図を作成する。(発注図面の利用及び舗装面積展開図)	契約毎
		材料承認願い	コンクリート二次製品、生コンクリート、アスファルト合材、骨材、その他工事に使用する全ての材料（必要な試験結果は契約日前6月以内であること）	契約毎
		図面との不一致協議		必要回数
		周辺調査・地下埋設物調査・その他各種事前調査資料など		契約毎
3	その他	監督員の指示するもの。		必要回数

## 土木工事における提出書類一覧表

### 工事中提出書類

種 類		内 容		頻 度
1	工事施工協議書	協議事項		必要回数
		材料承認願い	変更に伴う材料 (例)使用合材及び使用骨材等の変更など。	必要回数
		予想出来型展開図	構造物の変更または舗装面積の増など。	必要回数
2	技術者等変更通知書	現場代理人、主任技術者等の変更		必要回数
3	工期延長申請書	請負者の責により工期延長する場合	変更工程表の添付(赤黒対象)	必要回数
4	監督員指示書	監督員の指定するもの		必要回数
5	工事変更施工計画書	施工延長の変更、技術者等の変更、工期変更及び下請に変更があった場合		変更毎に
6	施工体制台帳及び施工体系図	下請契約に変更が生じた場合及び追加が生じた場合は提出する。	各写しを協議書に添付すること。	契約毎
7	事故報告書	事故があった場合		必要回数
8	完成時点予想出来形展開図	平面図・縦断図・舗装展開図・雑工関係		80%出来形時
9	工事カルテの提出(変更時)	2,500円未満は不用。2,500万円以上の場合、金額変更のみの変更登録は不用。なお、登録期限は変更契約時から10日以内とする。ただし、しゅん工時登録と変更時登録の間が10日以内であれば、変更時登録を省略し、しゅん工時に登録することが出来る。	写しを協議書に添付すること	変更契約毎
10	検査記録票 (段階確認用)	監督員が指定した場合には提出すること。		必要回数
11	出来形確認申請書	請負業者において部分払いが必要な場合	業者→発注者	部分払を請求する回数は、安曇野市財務規則第137条による。
12	出来形検査結果通知書		発注者→業者	
13	部分払請求書		業者→発注者	
14	現場休業届	工期の間5日以上休む場合		必要回数
15	休日作業届	休日に作業を行う場合		必要回数
16	その他	監督員の指示するもの。		必要回数

## 土木工事における提出書類一覧表

### 工事完成時提出書類

種 類		内 容		頻 度
1	コリンズ登録書(しゅん工時)	2,500円未満は不用。登録期限はしゅん工日から10日以内とする。	写しを添付すること。竣工検査までに必ず提出する。技術データ登録内容の写し添付。	しゅん工時
2	しゅん工届			しゅん工時
3	請求書			しゅん工時

## 土木工事における提出書類一覧表

しゅん工書類

種 類		内 容		頻 度
1	目次			契約毎
2	経緯表		施工協議書の受け渡し内容、指示書などを日付順にまとめる。	契約毎
3	施工協議書	発注者側からの協議書(指示書)も含む	日付順にまとめる。	契約毎
4	実施工程表			契約毎
5	工事記録簿(工事日誌)		工期中は空白を作らず、計画・準備・書類整備等も記入すること。	契約毎
6	監督日誌			必要回数
7	検査記録表		各工種すべて	出来形管理基準による
8	使用材料集計表			契約毎
9	各種材料受払簿			契約毎
10	使用材料伝票類	使用材料全て(しゅん工書類とは別冊で提出、検査後会社保管)	検査終了年度から5年間会社管理すること。	契約毎
11	100%出来形展開図	平面図・縦断図・舗装展開図等	工事完成時の設計寸法を( )により記入し、実測寸法を( )の外に記入する。	契約毎
12	材料試験結果	埋戻材(発生土・碎石)密度・アスファルト(厚さ・密度)・コンクリート		品質管理基準による
13	再生資源利用実施書 再生資源利用促進実施書		計画書は当初施工計画書に写しを添付し、実施書は媒体を添えて写しを提出する。	必要回数
14	産業廃棄物処理表	A、B2、D、E表の写しを最初、中間、最終を提出すること	検査終了年度から5年間会社管理すること。	写真も一緒にまとめる
15	社内検査資料	書類検査時写真及び検査記録表など		契約毎
16	工事写真		着工前、竣工、品質管理、工種別状況、その他の順番で綴る。	契約毎
17	安全教育資料		写真や安全教育資料など	契約毎
18	交通整理員集計表	伝票を集計したものを添付する。(伝票は使用材料伝票類と一緒に綴ること)	検査終了年度から5年間会社管理すること。	契約毎
19	舗装コア	検査時に持参	検査終了年度から5年間会社管理すること。	検査毎
20	その他	監督員が指示するもの		必要回数



土木工事写真撮影(例)一覧表

区 分	工 種	写 真 管 理 項 目			備 考	
		撮影項目	撮影時期	提出頻度		
着工前・完成	着工前	全景(始点から終点に向 かって及び終点から始点 に向けて撮影)	着工前	着工前各1回		
		施工延長に応じた必要な ポイント				
	完成	着工前と同じ	完成後	完成後各1回		
土工	掘削	掘削状況	施工中			
		掘削深さ	床掘完了後			
		掘削幅				
	床均し	床均し状況	施工中			
	発生土処分	積込み状況	積込み中	処分地及び仮置場が 異なる毎に1回の撮 影とし、着工前各1 回、完成後各1回		
		過積載の確認				
		処分状況 (仮置場含む)	積卸し			
		処分場全景 (仮置場含む)	整地中			
			着工前			
			整地中			
			整地後			
	基礎工	施工状況	施工中			
		転圧状況				
		厚さ・幅	基礎工完了後			
	埋戻し	埋戻し及び投入状況	施工中			
		締固め状況				
		1層毎の厚さ・幅	1層毎の発生土埋戻 し完了後			
	コンクリート工	型枠	施工状況	施工中		
			型枠寸法	設置完了後		
		打ち込み	打設状況	施工中		
		出来型	構造物寸法	完了後		
鉄筋工	鉄筋工	施工状況	施工中			
		鉄筋配置寸法	完了後			
二次製品布設	基礎工	施工状況	施工中			
		転圧状況				
		厚さ・幅	基礎工完了後			
	捨コン基礎	型枠施工状況	施工中			
		型枠寸法	設置完了後			
		打設状況	施工中			
		厚さ・幅	捨コン完了後			
	敷モルタル	施工状況	施工中			
		厚さ・幅	敷モルタル完了後			
	布設工	布設状況	施工中			
			施工後			

土木工事写真撮影(例)一覧表

区 分	工 種	写 真 管 理 項 目			備 考
		撮影項目	撮影時期	提出頻度	
その他の構造物	全ての工種	施工状況	施工中	特に埋設されるものは必要以上に写真を残すこと	
		完成状況	施工後		
舗装工	舗装切断	切断状況	施工中		
	舗装取壊し	取壊し状況	施工中		
		積込状況			
		現況舗装厚の検測			
	路盤工	施工状況	施工中		
		転圧状況			
		整正状況	整正後		
		厚さ	整正後		
		幅	整正後		
	表層工	施工状況	施工中		
		転圧状況			
		整正状況	整正後		
		厚さ	整正後		
		幅	整正後		
共通仮設	仮設工	現場事務所等の設置状況	設置後	種類毎に1回	
		仮設トイレの設置状況			
	水替工	ポンプ設置状況	施工中	1施工箇所1回	
		排水状況(吐出先の状況)			
		形状寸法		ポンプ規格が異なる場合は都度1回	
	安全施設	各種標識類の設置	設置後	種類毎に1回	
		各種保安施設の設置			
		監視員・交通整理状況	作業中	配置箇所毎に1回	
		夜間の安全施設の状況	施工中		
		安全訓練の実施状況	実施中	実施毎に1回	
使用材料	使用材料	形状寸法	使用前	使用品目及び使用部材毎に1回	
		検査実施状況	検査時	検査毎に1回	
使用機械	使用機械		使用前	機械毎に1回	

土木工事写真撮影(例)一覧表

区 分	工 種	写 真 管 理 項 目			備 考
		撮影項目	撮影時期	提出頻度	
品質管理	路床・路体	現場密度の測定	試験実施中		
	路盤工	締固め密度測定	試験実施中		
		プルーフローリング測定	試験実施中		
	アスファルト舗装 (舗設現場)	温度測定	試験実施中	合材の種別毎に1回	
		密度試験			
		採取コアAs量抽出			
		粒度分析試験			
		すべり抵抗試験			
	コンクリート	スランプ試験	試験実施中	試験毎に1回	
		圧縮強度試験			
		塩化物含有量試験			
		空気量測定			
その他	補償関係	被害又は損害状況等	発生時	その都度	
			対応状況後		
	環境対策	各施設設置状況	設置後	種別毎に1回	
	事前調査	樹木、ブロック塀、家屋のクラックなど	着工前	実施箇所毎に1回	
		地下埋設物調査	調査後	実施箇所毎に1回	
	建退協	建退協への加盟写真	実施中	1回	
	施工体制	施工体制図を掲げた写真	実施中	1回	
	安全教育	実施状況	実施中	実施毎に1回	
	KY活動	実施状況	実施中	適宜	

※1 これはひとつの写真撮影例であり、工事現場ごと当該監督員と協議して決定すること。その際は、協議書を添えて協議すること。

※2 現場における黒板及びホワイトボードへ設計値及び実測値を記入すること。また、書類整備においても写真の横にある余白へ設計値及び実測値を記入すること。

※3 しゅん工書類には、区分毎及び測点毎にインデックスをつけること。

## 資材単価決定調書 【 見積り単価 】

穂高地区 青木花見工区

番号	名称	規格	単位	決定価格（数量）	備考
1	不足土（購入土）	埋土	m3	2,300	松本平砂利事業協同組合
2	列車見張員		人	22,900	丸正小林建設
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

# 施工位置図

S=1/50, 000

青木花見地区

有明駅





## 土取場(購入土)・仮設材運搬位置図

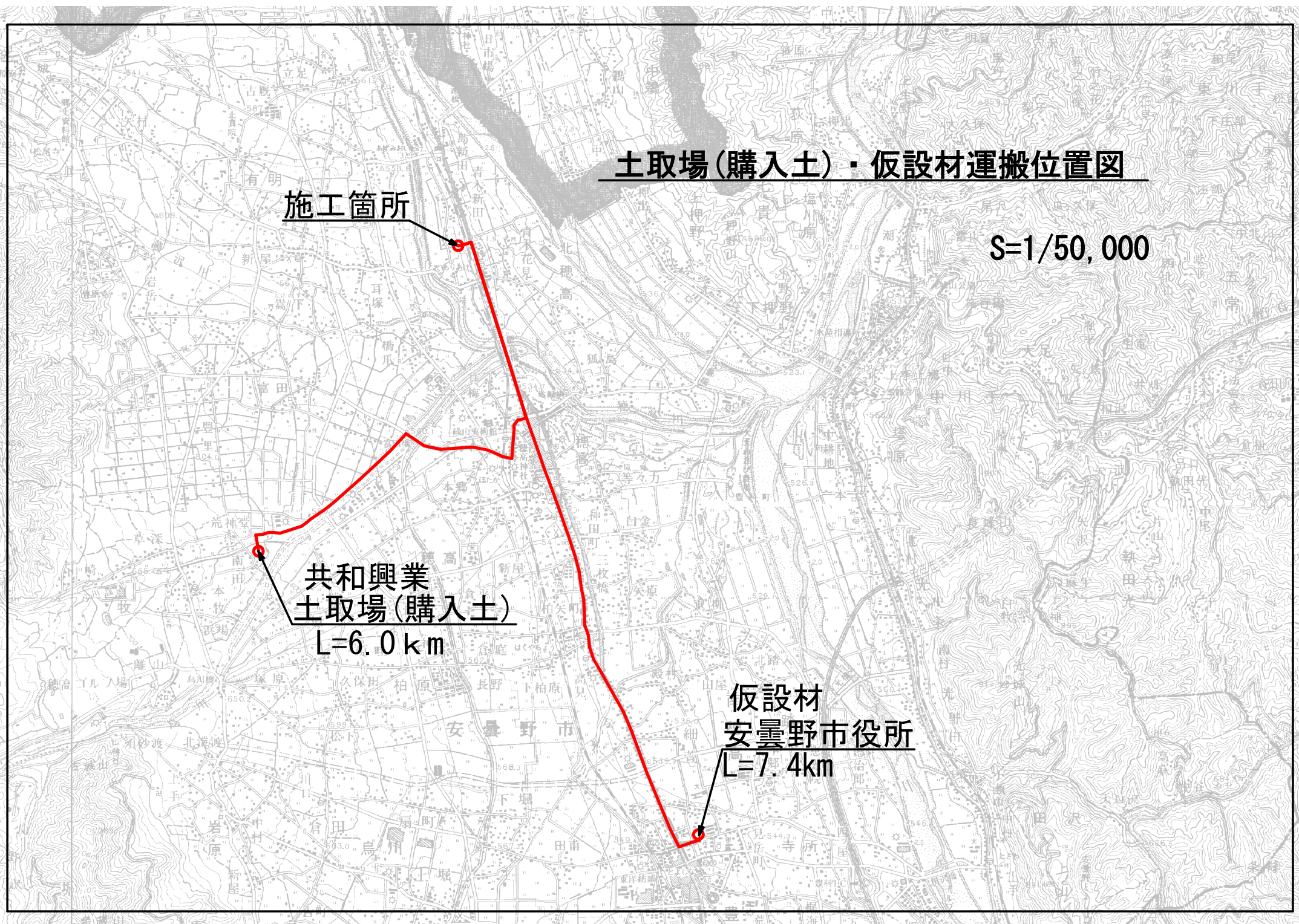
S=1/50,000

施工箇所

共和興業  
土取場(購入土)

L=6.0 km

仮設材  
安曇野市役所  
L=7.4km



# 総括情報表

適用単価地区 実施設計単価表等の適用日	50 1 1   中信（ 2 ） 04.10.27		
	当 世 代		前 世 代
前払率（ ％ ） 消費税率（ ％ ） 工種 契約保証方法 施工地域区分 豪雪割増	40 10   ％ 05   水路工事 01   金銭的保証 09   補正無し 01   豪雪割増有り		
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象とはなりませんのでご理解願います。		

( 工事費内訳書 )

# ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0002

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊						
水路工						
水路土工						
掘削工						
			式			
床掘り 土砂 小規模						0
	99	m 3				施工 第0-0004号表
盛土工						
			式			
盛土 まき出し 粘性土・礫質土 締固めあり コンパクト ( )						0
	77	m 3				施工 第0-0005号表
積込 ( ルーズ ) 土砂 小規模 ( 標準 )						0
	86	m 3				施工 第0-0003号表
埋戻 まき出し 粘性土・礫質土 締固めあり タンパ ( )						0
	91	m 3				施工 第0-0006号表



# ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0003

( 工事費内訳書 )

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込（ルーズ） 土砂 小規模(標準)					0
	101	m 3			施工 第0-0007号表
整形仕上げ工		式			
法面整形 盛土部 法面締固めなし					0
	292	m 2			施工 第0-0008号表
不足土運搬工		式			
不足土積込（ルーズ） 土砂 土量50,000m3未満					0
	88	m 3			施工 第0-0009号表
不足土運搬（特殊）：D I D無し 土砂 4 t 積級ダンプ 運搬距離 6 . 0 k m以下					0
	88	m 3			施工 第0-0010号表
購入土(不足土) 共和興業より購入					
	88	m 3			
水路本体工					
プレキャスト開渠工		式			

# ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

( 工事費内訳書 )

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水構造物工 ベンチフリューム ベンチフリューム 型 6 0 0 6 0 0 × 3 8 0 × 2 0 0 0 mm 基礎砕石RC-40 t=10cm	291.9	m			0 施工 第0-0012号表
排水構造物工 ベンチフリューム ベンチフリューム 型 7 0 0 7 0 0 × 4 4 0 × 2 0 0 0 mm 基礎砕石RC-40 t=10cm	135.0	m			0 施工 第0-0013号表
掛口工布設 中信 型 掛口 6 0 0 型 基礎砕石有り R C - 4 0 t=10cm	12	箇所			0 施工 第0-0014号表
掛口工布設 中信 型 掛口 7 0 0 型 基礎砕石有り R C - 4 0 t=10cm	7	箇所			0 施工 第0-0016号表
カ - プ フ リ ユ - ム ( C F ) 工 C F 6 0 0 型 基礎砕石有り R C - 4 0 t=10cm	1.0	m			0 施工 第0-0018号表
排水構造物工 蓋版据付 ベンチフリューム用600型(2種) 0.5m/枚 4 0 k g を 超 え 1 7 0 k g / 枚 以下	10	枚			0 施工 第0-0020号表
導水管巻立Co工 350(W) × 350(H) × 150( t )	19	箇所			0 科目 第0004号表
硬質ポリ塩化ビニル管 ( V U ) 布設 薄肉管 V U 直管 ( 両差し口 ) 4 . 0 m 1 5 0 mm 管	22.8	m			0 施工 第0-0021号表
硬質塩化ビニル管 D V 継手 ( 排水用 ) 9 0 ° エ ル ボ 1 5 0	19	個			0

( 工事費内訳書 )

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
BF600型接続工						
	2		箇所			科目 第0002号表
BF700型接続工						
	2		箇所			科目 第0001号表
BF600型補強工						0
	13		組			科目 第0003号表
安全費						
列車見張員						
			式			
列車見張員 労務費 週休 2 日対象						0
	41		人			
構造物撤去工						
構造物取壊し工						
			式			
とりこわしコンクリート殻処理工						0
	38		m 3			科目 第0005号表

( 工事費内訳書 )

# ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0006

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物とりこわし 無筋構造物 機械施工 低騒音・低振動対策 不要					0
	2.6	m 3			施工 第0-0022号表
産業廃棄物処理工					
産業廃棄物運搬工					
		式			
＊産業廃棄物処分費＊					
Co二次廃材等運搬 小規模 DID区間なし 6.0km以下 バックホ					0
	38	m 3			施工 第0-0023号表
Co(無筋)廃材等運搬 小規模 DID区間なし 6.0km以下 バックホ					0
	2.6	m 3			施工 第0-0024号表
産業廃棄物処理工					
		式			
＊産業廃棄物処分費＊					
二次製品コンクリート塊処理費 中間処理場					0
	88	t			施工 第0-0025号表

# ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0007

( 工事費内訳書 )

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
無筋コンクリート塊処理費 中間処理場					0
	6.0	t			施工 第0-0026号表
仮設工					
指定仮設工（仮設道路）					
		式			
不足土積込（ルーズ） 土砂 土量50,000m3未満					0
	42	m 3			施工 第0-0009号表
不足土運搬（特殊）：D I D無し 土砂 4 t 積級ダンプ 運搬距離 2 . 5 k m以下					0
	42	m 3			施工 第0-0027号表
不足土投入（ルーズ） 土砂 小規模(標準)					0
	42	m 3			施工 第0-0028号表
締固工 築堤（盛土作業）・路体 排対型					0
	42	m 3			施工 第0-0029号表
残土掘削積込 土砂 小規模(標準)					0
	42	m 3			施工 第0-0031号表
残土等運搬 小規模 DID区間なし 2.5km以下 バックホ					0
	42	m 3			施工 第0-0032号表

( 工事費内訳書 )

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
残土整地 敷均し(ル-ス) 標準(10,000m3未満)					0
	42	m 3			施工 第0-0033号表
敷鉄板設置・撤去工 設置～賃料～撤去 供用 7 0 日 使用回数 1 回					0
	1,452	m 2			施工 第0-0034号表
畦畔復旧(畦畔)					0
	85	m			施工 第0-0036号表
耕地復旧(耕起) 石礫雑物除去必要無し					0
	0.25	h a			施工 第0-0038号表
＊ ＊ 直接工事費 ＊ ＊					
運搬費					
輸送費(仮設材) 往復計上 片道輸送距離 1 0 kmまで 製品長12m以内					0
	250.8	t			施工 第0-0040号表
＊ ＊ 共通仮設 費率分 ＊ ＊					
＊ ＊ 共通仮設費計 ＊ ＊					

( 工事費内訳書 )

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ 純工事費 ＊ ＊						
＊ 現場管理費 ＊						
＊ ＊ 工事原価 ＊ ＊						
＊ 一般管理費等 ＊						
( 参考 ) 予定 価格に占める 法定福利費概 算額						
＊ ＊ 工事価格計 ＊ ＊						
＊ ＊ 消費税等 相当額計 ＊ ＊						
＊ ＊ 工事費計 ＊ ＊						

## BF700型接続工

# 科目内訳表

科目 第0001号表

頁0-0010

1.00

## 箇所 考

[illegible]



## BF600型接続工

## 科目内訳表

科目 第0002号表

頁0-0011

1.00

箇所  
考

[illegible]

## BF600型補強工

# 科目内訳表

科目 第0003号表

頁0-0012

1.00

組  
考

[illegible]

350(W) × 350(H) × 150( t )

## 科目 第0004号表

頁0-0013

100

箇所

[illegible]

とりこわしコンクリート殻処理工

# 科目内訳表

科目 第0005号表

頁0-0014

10

m 3

施 工 名 称 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込（ルーズ） 土砂 小規模(標準)						0
		10.00	m <sup>3</sup>			施工 第0-0003号表
普通作業員						0
		0.40	人			
*** 合 計 ***						
		10	m <sup>3</sup>			
*** 単位当り ***						
		1	m <sup>3</sup>			

施 工 内 訳 表

型枠  
一般型枠  
機械構成比：0.00%

小型構造物  
労務構成比：100.00%

材料構成比：0.00%

市場単価構成比：0.00%

標準単価：1

施工 第0-0001号表

m 2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	45.15%	人		型わく工		
普通作業員	30.47%	人		普通作業員		
土木一般世話役	11.34%	人		土木一般世話役		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
型枠の種類：一般型枠				構造物の種類：小型構造物		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0016

コンクリート 小型構造物  
特殊養生(練炭) 小型車割増あり

夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 18-8-25(W/C=60%以下) 高炉 ( B B )

施工 第0-0002号表

1

m 3 当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 50.09%

材料構成比： 49.91%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	26.95%	人		普通作業員		
土木一般世話役	10.89%	人		土木一般世話役		
特殊作業員	7.70%	人		特殊作業員		
生コン 1 8 - 8 - 2 5 ( 2 0 ) - B B ( W / C = 6 0 % 以下 )	49.91%	m 3		生コンクリート 2 4 - 1 2 - 2 5 高炉 W / C 5 5 %		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

# 施工内訳表

頁0-0017

## コンクリート 小型構造物

特殊養生(練炭) 小型車割増あり

夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ

18-8-25(W/C=60%以下) 高炉(BB)

1

m 3 当り

機械構成比： 0.00% 勞務構成比：

50.09%

材料構成比： 49.91%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

[illegible]

# 施 工 内 訳 表

頁0-0018

積込（ルーズ）

土砂

機械構成比： 29.89% 労務構成比： 59.07% 材料構成比： 11.04% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[標準型] 排ガス2次 山積0.28m <sup>3</sup>	29.89%	供用日		バックホウ（クローラ型）[標準型] 排ガス2次		
特殊運転手	59.07%	人		運転手（特殊）		
軽油	11.04%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				作業内容：小規模(標準)		



# 施 工 内 訳 表

頁0-0019

床掘り  
土砂

施工 第0-0004号表

機械構成比： 21.91% 労務構成比： 70.90% 材料構成比： 7.19% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[ 後方超小旋回 ] 排ガス 2 次 山積 0 . 2 8 m 3	21.91%	供用日		バックホウ（クローラ型）[ 後方超小旋回 ] 排ガス 2 次		
特殊運転手	38.51%	人		運転手（特殊）		
普通作業員	32.39%	人		普通作業員		
軽油	7.19%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

# 施工内訳表

頁0-0020

床掘り

土砂

機械構成比： 21.91%

勞務構成比： 70.90%

小規模

材料構成比： 7.19%

市場単価構成比： 0.00%

施工 第0-0004号表

1  
標準単価：

m 3 当り

[illegible]

# 施工内訳表

頁0-0021

盛土 まき出し

粘性土・礫質土

締固めあり コンパクト ( )

施工 第0-0005号表

10

m 3

当り

[illegible]

# 施工内訳表

頁0-0022

埋戻 まき出し

粘性土・礫質土

締固めあり    タンパ (    )

施工 第0-0006号表

10

m 3

当り

[illegible]

# 施 工 内 訳 表

頁0-0023

積込（ルーズ）

土砂

機械構成比： 29.89% 労務構成比： 59.07% 材料構成比： 11.04% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[標準型] 排ガス2次 山積0.28m <sup>3</sup>	29.89%	供用日		バックホウ（クローラ型）[標準型] 排ガス2次		
特殊運転手	59.07%	人		運転手（特殊）		
軽油	11.04%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 豪雪割増：豪雪割増なし				作業内容：小規模(標準)		

施 工 内 訳 表

頁0-0024

法面整形

盛土部

機械構成比： 13.67% 労務構成比： 73.98% 材料構成比： 12.35% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ [ クローラ型 ] 賃料 超低騒音・排ガス3次 山積0.8m3(長期割引)	13.67%	日		バックホウ [ クローラ型 ] 賃料		
普通作業員	32.92%	人		普通作業員		
特殊運転手	28.11%	人		運転手 ( 特殊 )		
土木一般世話役	12.95%	人		土木一般世話役		
軽油	12.35%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		

施 工 内 訳 表

法面整形

盛土部

機械構成比： 13.67%

労務構成比： 73.98%

材料構成比： 12.35%

市場単価構成比： 0.00%

施工 第0-0008号表

1  
標準単価：

m 2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
*** 単位当り ***						
整形箇所：盛土部 現場制約の有無：現場制約なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				法面締固めの有無：法面締固めなし 土質：ㄱ質土、砂及び砂質土、粘性土 費用の内訳：全ての費用		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0026

不足土積込（ルーズ）

施工 第0-0009号表

土砂 土量50,000m3未満 1 m 3 当り  
機械構成比： 42.99% 労務構成比： 39.35% 材料構成比： 17.66% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[標準型] 排ガス2次 山積0.8m <sup>3</sup>	42.99%	供用日		バックホウ（クローラ型）[標準型] 排ガス2次		
特殊運転手	39.35%	人		運転手（特殊）		
軽油	17.66%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				作業内容：土量50,000m3未満		



# 施 工 内 訳 表

頁0-0027

不足土運搬（特殊）：D I D無し  
土砂 4 t 積級ダンプ

施工 第0-0010号表

運搬距離 6 . 0 k m以下

10 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック（機械損料） 普通 4 t 積級 損耗費別途計上	0.60	供用日			施工 第0-0011号表
タイヤ損耗費（ダンプ） 4 t 良好	0.60	供用日			
軽油	19	L			
一般運転手	0.52	人			
*** 合 計 ***	10	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			
土量区分：1箇所当たり運搬量100m3程度 路面状況：良好 積込機械区分：バックホウ山積0 . 8 0（平積0 . 6 0）			土質区分：土砂 運搬距離（k m）：6 運搬状況区分：D I D地区通行しない		

# 施工内訳表

頁0-0028

ダンプトラック（機械損料）

普通 4 t 積級

損耗費別途計上

施工 第0-0011号表

1 供用日 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

排水構造物工 ベンチフリューム

施工 第0-0012号表

名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水構造物 U型側溝 ( L 2 0 0 0 ) 1 0 0 0 k g 以下 制約無 昼間	10.00		m			据付
ベンチフリューム B F - - 6 0 0 L = 2 . 0 m	4.99		本			
フリューム用パット 6 0 0 用	4.99		枚			
再生クラッシャ - ラン 4 0 mm以下	0.91		m3			
*** 合 計 ***	10		m			
*** 単位当り ***	1		m			
作業区分：据付 ベンチフリューム規格 ( 型 ) : 6 0 0 6 0 0 × 3 8 0 × 2 0 0 0 mm 基礎碎石規格：再生クラッシャラン R C - 4 0					ベンチフリュームの種類：ベンチフリューム 型 基礎碎石施工の有無：基礎碎石施工あり 基礎碎石設計量 ( m 3 / 1 0 m ) : 0.76	
施工箇所区分：施工箇所区分による補正なし 時間的制約の有無：時間的制約なし					夜間作業の有無：夜間作業 ( 2 0 時 ~ 6 時 ) なし	

# 施 工 内 訳 表

頁0-0030

排水構造物工 ベンチフリューム

施工 第0-0013号表

ベンチフリューム 型

7 0 0

7 0 0 × 4 4 0 × 2 0 0 0 mm

基礎碎石RC-40 t=10cm

10

m

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水構造物 U型側溝 ( L 2 0 0 0 ) 1 0 0 0 k g 以下 制約無 昼間	10.00		m			据付
ベンチフリューム B F - - 7 0 0 L = 2 . 0 m	4.99		本			
フリューム用パット 7 0 0 用	4.99		枚			
再生クラッシャ - ラン 4 0 mm以下	1.06		m3			
*** 合 計 ***	10		m			
*** 単位当り ***	1		m			
作業区分：据付 ベンチフリューム規格 ( 型 ) : 7 0 0 7 0 0 × 4 4 0 × 2 0 0 0 mm 基礎碎石規格：再生クラッシャラン R C - 4 0						ベンチフリュームの種類：ベンチフリューム 型 基礎碎石施工の有無：基礎碎石施工あり 基礎碎石設計量 ( m 3 / 1 0 m ) : 0.88
施工箇所区分：施工箇所区分による補正なし 時間的制約の有無：時間的制約なし						夜間作業の有無：夜間作業 ( 2 0 時 ~ 6 時 ) なし

# 施 工 内 訳 表

頁0-0031

掛口工布設

中信 型 掛口 6 0 0 型

基礎碎石有り R C - 4 0 t=10cm

施工 第0-0014号表

100

箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掛口 ( 中信 型 ) 6 0 0 型	100.00	本			
フリューム用パット 6 0 0 用	100.00	枚			
再生クラッシャ - ラン 4 0 mm以下	9.17	m 3			
排水構造物工 U型側溝据付 ( 手間のみ ) L = 1 0 0 0 U型側溝質量 3 4 0 k g / 個	100.50	m			施工 第0-0015号表
*** 合 計 ***	100	箇所			
*** 単位当り ***	1	箇所			
規格区分：中信 型 掛口 6 0 0 型 基礎碎石区分：基礎碎石有り R C - 4 0 パット計上区分：パット計上有り ( B F - 2 用 )			時間的制約の有無：時間的制約なし 基礎碎石断面積 ( m 2 ) : 0.076		

施工 第0-0015号表

U型側溝質量 3 4 0 k g / 個

---

m

当り

[illegible]

# 施 工 内 訳 表

頁0-0033

掛口工布設

中信 型 掛口700型

基礎碎石有りRC - 40 t=10cm

施工 第0-0016号表

100

箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掛口（中信 型） 700型	100.00	本			
フリューム用パット 700用	100.00	枚			
再生クラッシャ - ラン40mm以下	10.61	m <sup>3</sup>			
排水構造物工 U型側溝据付（手間のみ） L = 1000 U型側溝質量437kg / 個	100.50	m			施工 第0-0017号表
*** 合 計 ***	100	箇所			
*** 単位当り ***	1	箇所			
規格区分：中信 型 掛口700型 基礎碎石区分：基礎碎石有りRC - 40 パット計上区分：パット計上有り（BF - 2用）			時間的制約の有無：時間的制約なし 基礎碎石断面積(m <sup>2</sup> ) : 0.088		

施工 第0-0017号表

当り

[illegible]



施 工 内 訳 表

カ - プ リ ュ - ム ( C F ) 工

施工 第0-0018号表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
C F 6 0 0 型 カープリューム 6 0 0 型 L = 1. 0 m	99.50	本			
フリウム用パット 6 0 0 用	99.50	枚			
再生クラッシャ - ラン 4 0 mm以下	9.12	m 3			
排水構造物工 U型側溝据付 ( 手間のみ ) L = 1 0 0 0 U型側溝質量 2 3 3 k g / 個	100.00	m			施工 第0-0019号表
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当り ***	1	m			
規格区分 : C F 6 0 0 型 基礎碎石区分 : 基礎碎石有り R C - 4 0 パット計上区分 : パット計上有り ( B F - 2 用 )			時間的制約の有無 : 時間的制約なし 基礎碎石断面積 ( m 2 ) : 0.076		

施工 第0-0019号表

U型側溝質量 2 3 3 k g / 個

---

m

当り

[illegible]

# 施工内訳表

頁0-0037

排水構造物工 蓋版据付

ベンチフリューム用600型(2種) 0.5m/枚

40 kgを超え170 kg / 枚以下

施工 第0-0020号表

100

枚

当り

[illegible]

# 施 工 内 訳 表

頁0-0038

硬質ポリ塩化ビニル管（V U）布設  
薄肉管V U 直管（両差し口）4 . 0 m

1 5 0 mm管

施工 第0-0021号表

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質ポリ塩化ビニル管（薄肉管） V U 径 1 5 0 長4.0 m	2.44	本			
雑材料費	2.00	%			
土木一般世話役	0.09	人			
特殊作業員	0.13	人			
普通作業員	0.19	人			
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り ***	1	m			
管種区分：薄肉管V U 直管（両差し口）4 . 0 m			管径区分：1 5 0 mm管		

# 施工内訳表

頁0-0039

## 構造物とりこわし

無筋構造物 機械施工

## 低騒音・低振動対策 不要

施工 第0-0022号表

1 m 3 当り

[illegible]

# 施 工 内 訳 表

頁0-0040

Co二次廃材等運搬

小規模 DID区間なし 6.0km以下

機械構成比： 25.82% 労務構成比： 62.21%

バックホ

材料構成比： 11.97%

施工 第0-0023号表

1  
標準単価：

m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ] 4 t 積級	25.82%	供用日		ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]		
一般運転手	62.21%	人		運転手 ( 一般 )		
軽油	11.97%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土砂等発生現場：小規模 土質：土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離：6.0km以下				積込機種・規格：バックホ DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0041

Co(無筋)廃材等運搬

小規模 DID区間なし 6.0km以下

機械構成比： 25.82% 労務構成比： 62.21%

バックホ

材料構成比： 11.97%

市場単価構成比： 0.00%

施工 第0-0024号表

1  
標準単価：

m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ] 4 t 積級	25.82%	供用日		ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]		
一般運転手	62.21%	人		運転手 (一般)		
軽油	11.97%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土砂等発生現場：小規模 土質：土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離：6.0km以下				積込機種・規格：バックホ DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

二次製品コンクリート塊処理費  
中間処理場

施工 第0-0025号表

1 t 当り

[illegible]



# 施工内訳表

頁0-0043

無筋コンクリート塊処理費  
中間処理場

施工 第0-0026号表

1 t 当り

[illegible]

# 施 工 内 訳 表

頁0-0044

不足土運搬（特殊）：D I D無し  
土砂 4 t 積級ダンプ

施工 第0-0027号表

運搬距離 2 . 5 k m以下

10 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック（機械損料） 普通 4 t 積級 損耗費別途計上	0.37	供用日			施工 第0-0011号表
タイヤ損耗費（ダンプ） 4 t 良好	0.37	供用日			
軽油	12	L			
一般運転手	0.32	人			
*** 合 計 ***	10	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			
土量区分：1箇所当たり運搬量100m3程度 路面状況：良好 積込機械区分：バックホウ山積0 . 8 0（平積0 . 6 0）			土質区分：土砂 運搬距離（k m）：2 運搬状況区分：D I D地区通行しない		

施 工 内 訳 表

頁0-0045

不足土投入（ルーズ）

施工 第0-0028号表

土砂 小規模(標準) 1 m 3 当り  
機械構成比： 29.89% 労務構成比： 59.07% 材料構成比： 11.04% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[標準型] 排ガス2次 山積0.28m3	29.89%	供用日		バックホウ（クローラ型）[標準型] 排ガス2次		
特殊運転手	59.07%	人		運転手（特殊）		
軽油	11.04%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				作業内容：小規模(標準)		

頁0-0046

施工 第0-0029号表

1 日

86

m 3

当り

[illegible]

# 施工内訳表

頁0-0047

振動ローラ(搭乗式コンバインド型)(機械賃料)

3 ~ 4 t 排对型 1 次

賃料長期割引有(30日以上)

施工 第0-0030号表

---

1

\_\_\_\_\_

当日

[illegible]

# 施 工 内 訳 表

頁0-0048

残土掘削積込

土砂

機械構成比：

29.89%

労務構成比：

小規模(標準)

59.07%

材料構成比：

11.04%

市場単価構成比：

施工 第0-0031号表

標準単価：

1

m 3

当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) [標準型] 排ガス2次 山積0.28m <sup>3</sup>	29.89%	供用日		バックホウ(クローラ型) [標準型] 排ガス2次		
特殊運転手	59.07%	人		運転手(特殊)		
軽油	11.04%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 施工数量：小規模(標準)				施工方法：上記以外(小規模) 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0049

残土等運搬

小規模 DID区間なし 2.5km以下

機械構成比： 25.82% 労務構成比： 62.21%

バックホ

材料構成比： 11.97%

施工 第0-0032号表

1  
標準単価：

m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ] 4 t 積級	25.82%	供用日		ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]		
一般運転手	62.21%	人		運転手 ( 一般 )		
軽油	11.97%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土砂等発生現場：小規模 土質：土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離：2.5km以下				積込機種・規格：バックホ DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0050

残土整地  
敷均し(ルズ)

施工 第0-0033号表

機械構成比： 25.57% 労務構成比： 50.73% 材料構成比： 23.70% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックハウ[クローラ型]賃料 超低騒音・～2011年規制	25.57%	日		バックハウ[クローラ型]賃料		
特殊運転手	50.73%	人		運転手(特殊)		
軽油	23.70%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
作業区分：敷均し(ルズ) 障害の有無：障害なし				施工数量：標準(10,000m3未満)		



# 施 工 内 訳 表

頁0-0051

敷鉄板設置・撤去工

設置～賃料～撤去 供用70日

使用回数1回

施工 第0-0034号表

1000

m2

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
敷鉄板（リース）	1,000.00	m2			
敷鉄板整備費	1,000.00	m2			
特殊作業員	2.90	人			
普通作業員	2.90	人			
バックハウ(加-ラ型クレーン機能付)（機械賃料） 山積0.8(平積0.6)m3 2.9t吊 排対型3次 賃料長期割引有(30日以上)	3.31	日			施工 第0-0035号表
軽油	365	L			
特殊運転手	2.90	人			
*** 合 計 ***	1,000	m2			
*** 単位当り ***	1	m2			
施工区分：設置～賃料～撤去 使用回数：1 敷鉄板整備費単価：			供用日数：70 敷鉄板単価： 1工事当たり機械総供用日数区分(BH)：30日以上		

施工 第0-0035号表

排対型 3 次 賃料長期割引有(30日以上)

1 目 当り

[illegible]

# 施工内訳表

施工 第0-0036号表

頁0-0053

1 目 80 m 当り

[illegible]

バックホウ(クローラ型) (機械賃料)

山積0.45(平積0.35)m3法面バケット付 排対型 1 次 賃料長期割引有(30日以上)

1 目 当り

[illegible]

# 施工内訳表

頁0-0055

耕地復旧（耕起）  
石礫雑物除去必要無し

施工 第0-0038号表

0.01      h a      当り

[illegible]

# 施工内訳表

頁0-0056

## トラクタ（ホイール式）運転経費

2 2 K W級

(燃料別途)

施工 第0-0039号表

1

時間 当り

[illegible]

# 施工内訳表

頁0-0057

輸送費（仮設材）

往復計上 片道輸送距離 10 kmまで

製品長12m以内

施工 第0-0040号表

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

# 数量計算調書



## 青木花見 地区

## 数 量 計 算 調 書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
土工		横断面図より				
床掘	BH	別紙;土積計算書 より	98.80	≡ 99	m3	
盛土	人力締固め	別紙;土積計算書 より	77.20	≡ 77	m3	
	BH投入	盛土(人力締固め) ÷ 0.9 =	85.78	≡ 86	m3	
埋戻	人力締固め	別紙;土積計算書 より	91.30	≡ 91	m3	
	BH投入	埋戻(人力締固め) ÷ 0.9 =	101.44	≡ 101	m3	
不足積込(BH)	購入土	$(85.78+101.44)^{m^3}-98.80^{m^3}=$	88.42	≡ 88	m3	
不足土運搬	4tDT、L=6.0Km		88.42	≡ 88	m3	
不足土代	購入土		88.42	≡ 88	m3	松本平砂利事業協同組合単価 2,300円/m3
法面仕上げ	盛土部	別紙;土積計算書 より	292.10	≡ 292	m2	

# 土積計算書

青木花見工区

## No.1 当初

[illegible]

# 土 積 計 算 書

青木花見工区

NO.1 当初

側 点	距 離		切 土 (m3)				盛 土 (m3)				砕石埋戻 (m3)		法面仕上げ (m2)			
	(m)		切 土 C1		床 掘 C2		盛 土 B1		埋 戻 B2		B3		切土仕上げ		盛土仕上げ	
	点 間	平 均	断面	土量	断面	土量	断面	土量	断面	土量	断面	砕石量	断面	面積	断面	面積
No.15	0.00	6.72			0.3	2.0	0.1	0.70	0.3	2.0					0.2	1.3
No.16	13.44	13.53			0.2	2.7	0.2	2.70	0.2	2.7					0.6	8.1
No.17	13.62	12.31			0.2	2.5	0.2	2.50	0.2	2.5					0.7	8.6
No.18	11.01	18.97			0.3	5.7	0.1	1.90	0.2	3.8					0.7	13.3
No.19	26.94	13.47			0.3	4.0	0.1	1.30	0.2	2.7					0.6	8.1
No.19	0.00	13.78			0.2	2.9	0.1	1.4	0.2	2.8					0.6	8.3
No.20	27.57	30.06			0.2	6.0	0.2	6.0	0.2	6.0					0.5	15.0
No.21	32.55	32.45			0.2	6.5	0.1	3.2	0.2	6.5					0.6	19.5
No.22	32.35	31.46			0.1	3.1	0.1	3.1	0.1	3.1					1.3	40.9
No.23	30.58	25.58			0.1	2.6	0.3	7.7	0.1	2.6					0.9	23.0
No.24	20.59	16.37			0.3	4.9	0.1	1.6	0.3	4.9					0.3	4.9
No.25	12.16	20.06			0.2	4.0	0.2	4.0	0.2	4.0					1.0	20.1
No.26	27.96	14.93			0.2	3.0	0.2	3.0	0.2	3.0					0.7	10.5
No.27	1.91	7.62			0.2	1.5	0.2	1.5	0.1	0.8					0.9	6.9
No.28	13.34	13.79			0.4	5.5	0.1	1.4	0.3	4.1					0.2	2.8
No.29	14.25	7.13			0.4	2.9	0.1	0.7	0.3	2.1						
No.29	0.00	2.32			0.5	1.2			0.4	0.9						
No.30	4.63	2.32			0.5	1.2			0.4	0.9						
No.30	0.00	0.72			0.4	0.3	0.1	0.1	0.3	0.2					0.7	0.5
No.31	1.43	7.00			0.3	2.1	0.1	0.7	0.3	2.1					0.5	3.5
No.32	12.57	10.30			0.3	3.1	0.1	1.0	0.3	3.1					0.1	1.0
No.33	8.03	4.02			0.4	1.6			0.4	1.6						
計	304.93	304.91				69.30		44.50		62.40						196.30
合計	446.94	446.89				98.80		77.20		91.30						292.10

## 青木花見 地区

## 数 量 計 算 調 書

当初

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
本土工		平面図・縦断面図 より				
BF600(Ⅱ)型	No.15～No.33	$304.93^{[m]} - [1.0^{[m]} \times 12^{[本][掛口]} + 1.0^{[m][CF]}] =$	291.93	≒ 291.9	m	
BF700(Ⅱ)型	No.5+18.0～No.13	$142.01^{[m]} - [1.0^{[m]} \times 7^{[本][掛口]}] =$	135.01	≒ 135.0	m	
掛口600(中信Ⅲ型)		$12^{[箇所]} =$	12.00	≒ 12	箇所	
掛口700(中信Ⅲ型)		$7^{[箇所]} =$	7.00	≒ 7	箇所	
CF600型		$1.0^{[m]} =$	1.00	≒ 1.0	m	
BF600型用甲蓋	2種 (0.5m/枚)	$10^{[枚]} =$	10.00	≒ 10	枚	
導水管巻立Co	掛口部	$12^{[箇所]} + 7^{[箇所]} =$	19.00	≒ 19	箇所	G1010
塩化ビニル管φ150	掛口部	$1.2^{[m]} \times 19^{[箇所]} =$	22.80	≒ 22.8	m	
90° エルボ	掛口部	$19^{[個]} =$	19.00	≒ 19	個	
BF600型接続工	平面図より	$2^{[箇所]} =$	2.00	≒ 2	箇所	G1020
BF700型接続工	平面図より	$2^{[箇所]} =$	2.00	≒ 2	箇所	G1030
BF600型補強工	平面図より	$13^{[箇所]} =$	13.00	≒ 13	組	G2010





## 青木花見 地区

## 数 量 計 算 調 書

当初

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
廃棄物運搬						
Co二次廃材運搬	Dt4t L=産廃運搬図記載	二次製品取り壊しと同様	37.58	≒ 38	m3	
Co(無筋)取り壊し		Co(無筋)取り壊しと同様	2.57	≒ 2.6	m3	
廃棄物処理						
Co二次廃材処理費		別紙; 二次製品取り壊し計算書 より	88.34	≒ 88	t	
Co(無筋)廃材処理費		別紙; Co無筋取り壊し計算書 より	6.04	≒ 6.0	t	

## 二次製品取壊し計算書

青木花見工区

測点(区間内)	延長 m	名 称	単位重量 kg/本、個	単位長さ m	1m当り重量 kg/m	取壊し重量 t	単位体積重量 t/m <sup>3</sup>	取壊し量 m <sup>3</sup>	備 考
①	135.01	BF700	535.0	2.0	267.5	36.12	2.35	15.37	
②      6ヶ×1.0=	6.0	BF700型掛口	437.0	1.0	437.0	2.62	2.35	1.11	
④	297.13	BF500	325.0	2.0	162.5	48.28	2.35	20.54	
⑤      12ヶ×0.5=	6.0	BF500型掛口	110.0	0.5	220.0	1.32	2.35	0.56	
計						88.34		37.58	



## Co(無筋)取壊し計算書

青木花見工区

測点(区間内)	延長 m	名 称	単位重量 kg/本, 個	単位長さ m	1m当り重量 kg/m	取壊し重量 t	単位体積重量 t/m3	取壊し量 m3	備 考
③		Co(無筋)				2.21	2.35	0.94	$V=(1.3 \times 1.3 \times 1.15)-(1.0 \times 1.0 \times 1.0)=0.94\text{m}^3$
⑥		Co(無筋)				2.21	2.35	0.94	$V=(1.3 \times 1.3 \times 1.15)-(1.0 \times 1.0 \times 1.0)=0.94\text{m}^3$
⑥		Co(無筋)				1.62	2.35	0.69	$V=(1.1 \times 1.1 \times 1.05)-(0.8 \times 0.8 \times 0.9)=0.69\text{m}^3$
計						6.04		2.57	

指定仮設工	仮設道路	仮設計画図 より				
		①型                      ②型                      ③・④型				
不足積込(BH)	進入路造成分	$\frac{[(3.36+0.0)^{[m^2]}/2 \times 6.0^{[m]}] + [(4.46+0.0)^{[m^2]}/2 \times 8.0^{[m]}] + [(2.75+0.0)^{[m^2]}/2 \times 5.0^{[m]} \times 2^{[箇所]}]}{=}$	41.67	≒	42	m3
不足土運搬 L=2km	進入路造成分	上記と同様	41.67	≒	42	m3
不足土投入	進入路造成分	上記と同様	41.67	≒	42	m3
仮設道路締固め	進入路造成分	上記と同様	41.67	≒	42	m3
残土積込	進入路造成分	上記と同様	41.67	≒	42	m3
残土運搬	進入路造成分	上記と同様	41.67	≒	42	m3
残土整地	進入路造成分	上記と同様	41.67	≒	42	m3
仮設道路工(敷鉄板)設置・撤去	供用日数 70日(調書より) 1回使用	$(137.0+347.0)^{[m]} \times 3.0^{[m]} =$	1452.00	≒	1,452	m2
畦畔復旧		$5.0^{[m]} \times 17^{[箇所]} =$	85.00	≒	85	m
耕起		$[5.0^{[m]} \times (137.0+6.0+8.0+347.0+5.0+5.0)^{[m]}] / 10000^{[m^2/ha]} =$	0.25	≒	0.25	ha



仮設供用日数算定調書

当初

項目	名称	規格	数量	単位	標準日施工量	作業日数	備考①	備考②	施工量
準備工						2.0			
土工	床掘	小規模	98.80	m3	32	3.1			R4 積算基準P991
	盛土	人力締固め	77.20	m3	14.7	5.3			R4 積算基準P42 10m3/0.68(普通作業員)
	埋戻	人力締固め	91.30	m3	14.7	6.2			R4 積算基準P42 10m3/0.68(普通作業員)
本土工	BF布設	掛口工含む	446.94	m	43	10.4			ヘルプSG324N(排水構造物)
接続工	型枠		0.90	m2	15	0.1	2箇所×0.22m2=0.44m2	2箇所×0.23m2=0.46m2	R4 積算基準P1005
	生Co打設		0.08	m3	5	0.1	2箇所×0.02m2=0.04m3	2箇所×0.02m2=0.04m3	R4 積算基準P1004
	養生					5.0			
補強工	型枠		7.28	m2	15	0.5	13組×0.56m2=7.28m2		R4 積算基準P1005
	生Co打設		0.52	m3	5	0.2	13組×0.04m2=0.52m3		R4 積算基準P1004
	養生					5.0			
取壊し	BH		40.15	m3	42	1.0	37.58+2.57=40.15m3		R4 積算基準P990
撤去工						2.0	仮設道路撤去含む		
		合計				40.9	列車見張員 41日で計上		

上記使用日数を1.7倍(雨休率0.7)し雨天、休日を加味総供用日数とし敷鉄板使用日数とする。

敷鉄板

供用日数

40.9 × 1.7 ÷ 69.6 (単位は少数2位切上げ)

総供用日数を設置予定箇所数(1箇所)で除す。

共用日数 (69.6)÷1 = 69.6 70 日で積算する。

# グループ単価数量計算調書











【※注記】

◎ 掛口工： 

◎ 排水工：

【※注記】

◎ BF補強工： 

【※特記】 施工について

◎ 施工に伴い不明な点等発生した場合には、必ず監督員と協議を行うこと。

【※特記】 水路法線について

◎ 水路の法線については『丁張前後』で、必ず監督員と協議を行うこと。

【※特記】 掛口工について

◎ 掛口は「中信Ⅲ型掛口」とする。

◎ 掛口導水管は「VUΦ150mm L=1.2m」+「導水管巻上Co工」+「90°エルボ」で計画。

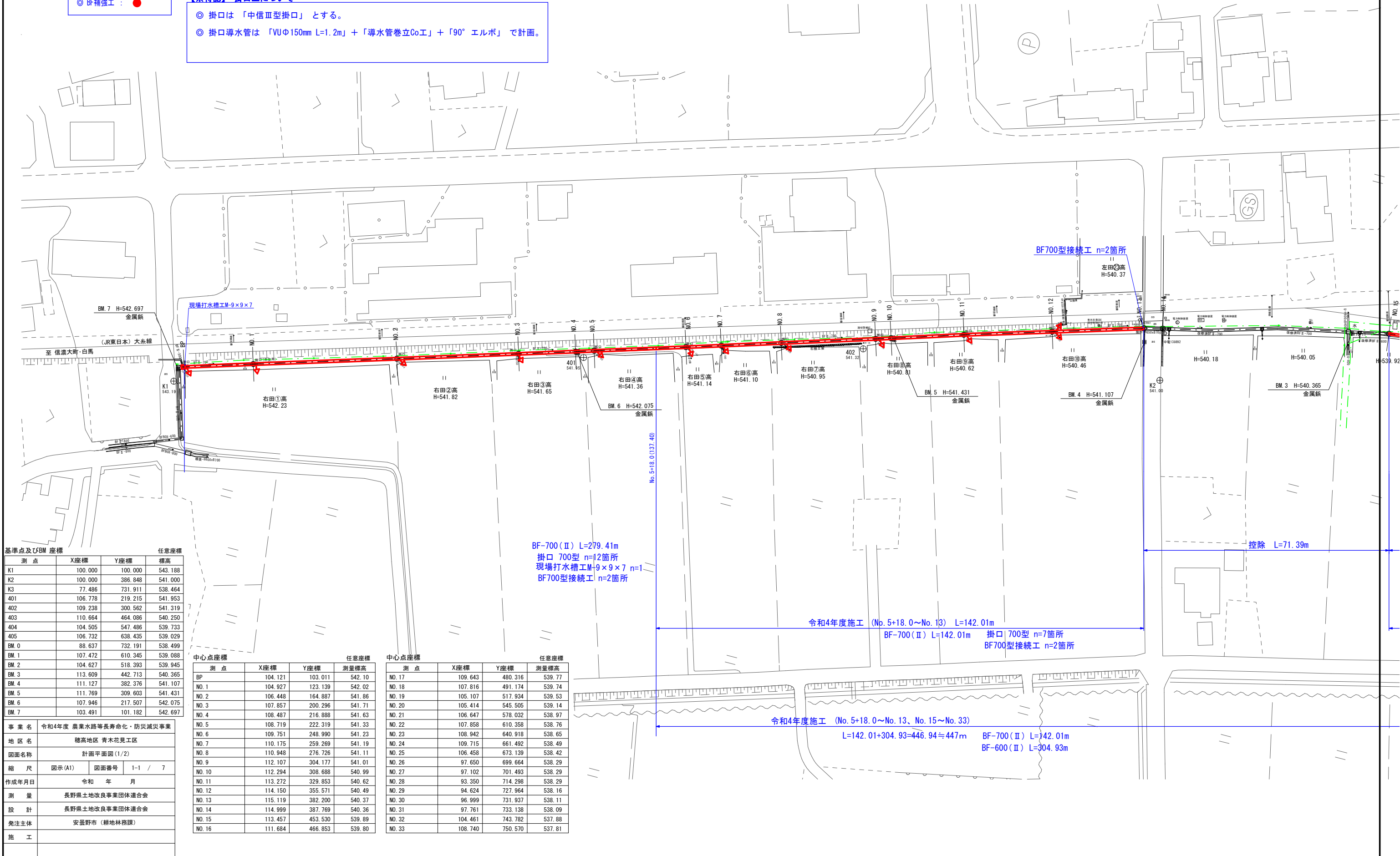
【※特記】 列車見張員について … 設計：41人

◎ 本地区は「JRの近接工事」となる為、列車見張員を計上。

◎ 列車見張員については、監督員と協議のうえ変更対象とする。

◎ JR工事申請を「安曇野市」で行っている。  
施工前に、必ず監督員と協議を行い、注意事項等の確認を行うこと。

計画平面図 S=1/500



基準点及びBM 座標				任意座標
測点	X座標	Y座標	標高	
K1	100.000	100.000	543.188	
K2	100.000	386.848	541.000	
K3	77.486	731.911	538.464	
401	106.778	219.215	541.953	
402	109.238	300.562	541.319	
403	110.664	464.086	540.250	
404	104.505	547.486	539.733	
405	106.732	638.435	539.029	
BM. 0	88.637	732.191	538.499	
BM. 1	107.472	610.345	539.088	
BM. 2	104.627	518.393	539.945	
BM. 3	113.609	442.713	540.365	
BM. 4	111.127	382.376	541.107	
BM. 5	111.769	309.603	541.431	
BM. 6	107.946	217.507	542.075	
BM. 7	103.491	101.182	542.697	

事業名	令和4年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業		
地区名	穂高地区 青木花見工区		
図面名称	計画平面図 (1/2)		
縮尺	図示(A1)	図面番号	1-1 / 7
作成年月日	令和	年	月
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市(耕地林務課)		
施工			

中心点座標				任意座標
測点	X座標	Y座標	測量標高	
BP	104.121	103.011	542.10	
NO. 1	104.927	123.139	542.02	
NO. 2	106.448	164.887	541.86	
NO. 3	107.857	200.296	541.71	
NO. 4	108.487	216.888	541.63	
NO. 5	108.719	222.319	541.33	
NO. 6	109.751	248.990	541.23	
NO. 7	110.175	259.269	541.19	
NO. 8	110.948	276.726	541.11	
NO. 9	112.107	304.177	541.01	
NO. 10	112.294	308.688	540.99	
NO. 11	113.272	329.853	540.62	
NO. 12	114.150	355.571	540.49	
NO. 13	115.119	382.200	540.37	
NO. 14	114.999	387.769	540.36	
NO. 15	113.457	453.530	539.89	
NO. 16	111.684	466.853	539.80	

中心点座標				任意座標
測点	X座標	Y座標	測量標高	
NO. 17	109.643	480.316	539.77	
NO. 18	107.816	491.174	539.74	
NO. 19	105.107	517.934	539.53	
NO. 20	105.414	545.505	539.14	
NO. 21	106.647	578.032	538.97	
NO. 22	107.858	610.358	538.76	
NO. 23	108.942	640.918	538.65	
NO. 24	109.715	661.492	538.49	
NO. 25	106.458	673.139	538.42	
NO. 26	97.650	699.664	538.29	
NO. 27	97.102	701.493	538.29	
NO. 28	93.350	714.298	538.29	
NO. 29	94.624	727.964	538.16	
NO. 30	96.999	731.937	538.11	
NO. 31	97.761	733.138	538.09	
NO. 32	104.461	743.782	537.88	
NO. 33	108.740	750.570	537.81	

基準点及びBM 座標			任意座標
測 点	X座標	Y座標	標高
K1	100.000	100.000	543.188
K2	100.000	386.848	541.000
K3	77.486	731.911	538.464
401	106.778	219.215	541.953
402	109.238	300.562	541.319
403	110.664	464.086	540.250
404	104.505	547.486	539.733
405	106.732	638.435	539.029
BM.0	88.637	732.191	538.499
BM.1	107.472	610.345	539.088
BM.2	104.627	518.393	539.945
BM.3	113.609	442.713	540.365
BM.4	111.127	382.376	541.107
BM.5	111.769	309.603	541.431
BM.6	107.946	217.507	542.075
BM.7	103.491	101.182	542.697

中心点座標			任意座標
測 点	X座標	Y座標	測量標高
BP	104.121	103.011	542.10
NO.1	104.927	123.139	542.02
NO.2	106.448	164.887	541.86
NO.3	107.857	200.296	541.71
NO.4	108.487	216.888	541.63
NO.5	108.719	222.319	541.33
NO.6	109.751	248.990	541.23
NO.7	110.175	259.269	541.19
NO.8	110.948	276.726	541.11
NO.9	112.107	304.177	541.01
NO.10	112.294	308.688	540.99
NO.11	113.272	329.853	540.62
NO.12	114.150	355.571	540.49
NO.13	115.119	382.200	540.37
NO.14	114.999	387.769	540.36
NO.15	113.457	453.530	539.89
NO.16	111.684	466.853	539.80

中心点座標			任意座標
測 点	X座標	Y座標	測量標高
NO.17	109.643	480.316	539.77
NO.18	107.816	491.174	539.74
NO.19	105.107	517.934	539.53
NO.20	105.414	545.505	539.14
NO.21	106.647	578.032	538.97
NO.22	107.858	610.358	538.76
NO.23	108.942	640.918	538.65
NO.24	109.715	661.492	538.49
NO.25	106.458	673.139	538.42
NO.26	97.650	699.664	538.29
NO.27	97.102	701.493	538.29
NO.28	93.350	714.298	538.29
NO.29	94.624	727.964	538.16
NO.30	96.999	731.937	538.11
NO.31	97.761	733.138	538.09
NO.32	104.461	743.782	537.88
NO.33	108.740	750.570	537.81

計画平面図 S=1/500

【※注記】

◎ 掛口工：



◎ 排水工：

【※注記】

◎ BF補強工：



【※特記】 施工について

◎ 施工に伴い不明な点等発生した場合には、必ず監督員と協議を行うこと。

【※特記】 水路法線について

◎ 水路の法線については『丁張前後』で、必ず監督員と協議を行うこと。

【※特記】 掛口工について

◎ 掛口は「中信Ⅱ型掛口」とする。

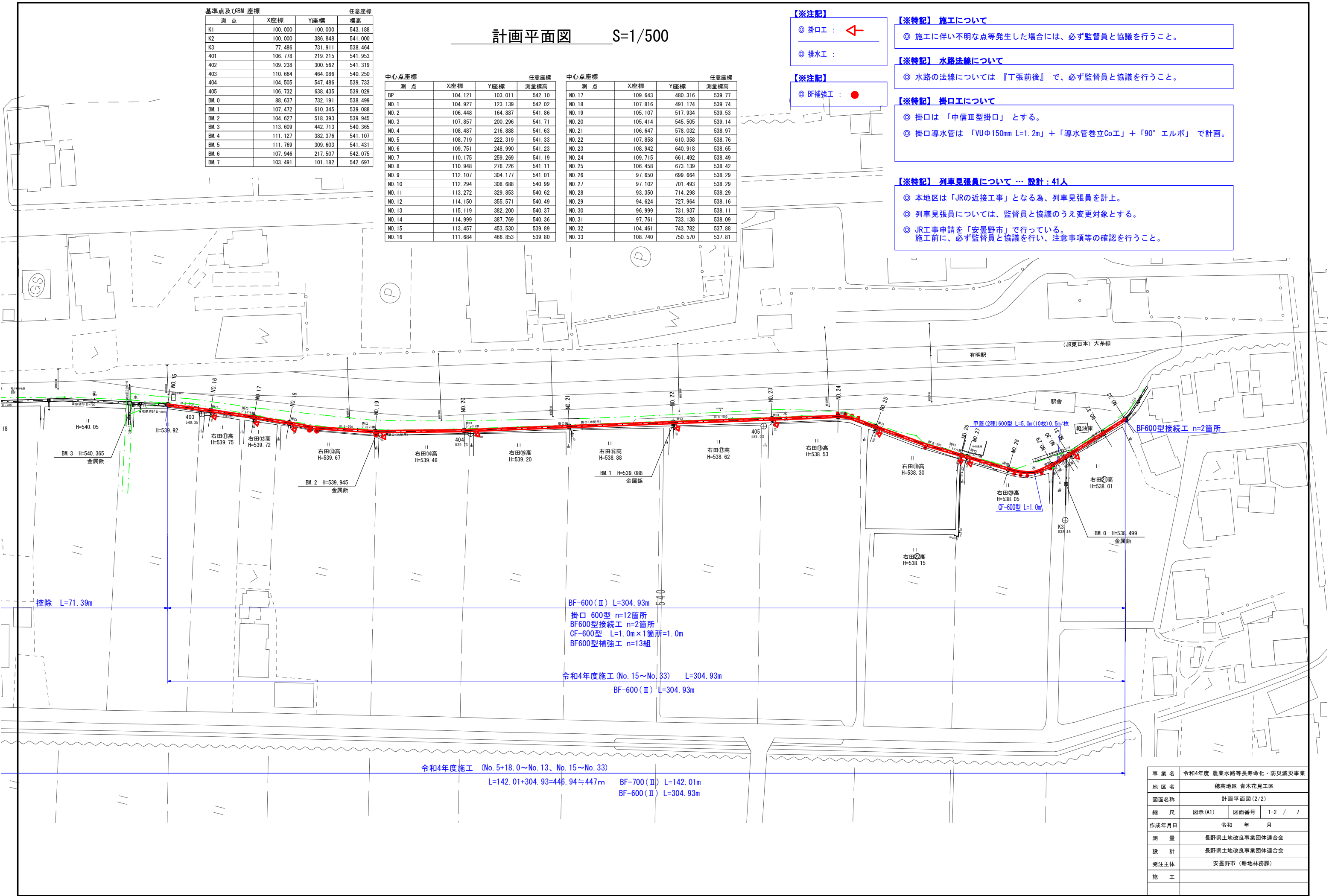
◎ 掛口導水管は「VUΦ150mm L=1.2m」＋「導水管巻立Co工」＋「90°エルボ」で計画。

【※特記】 列車見張員について … 設計：41人

◎ 本地区は「JRの近接工事」となる為、列車見張員を計上。

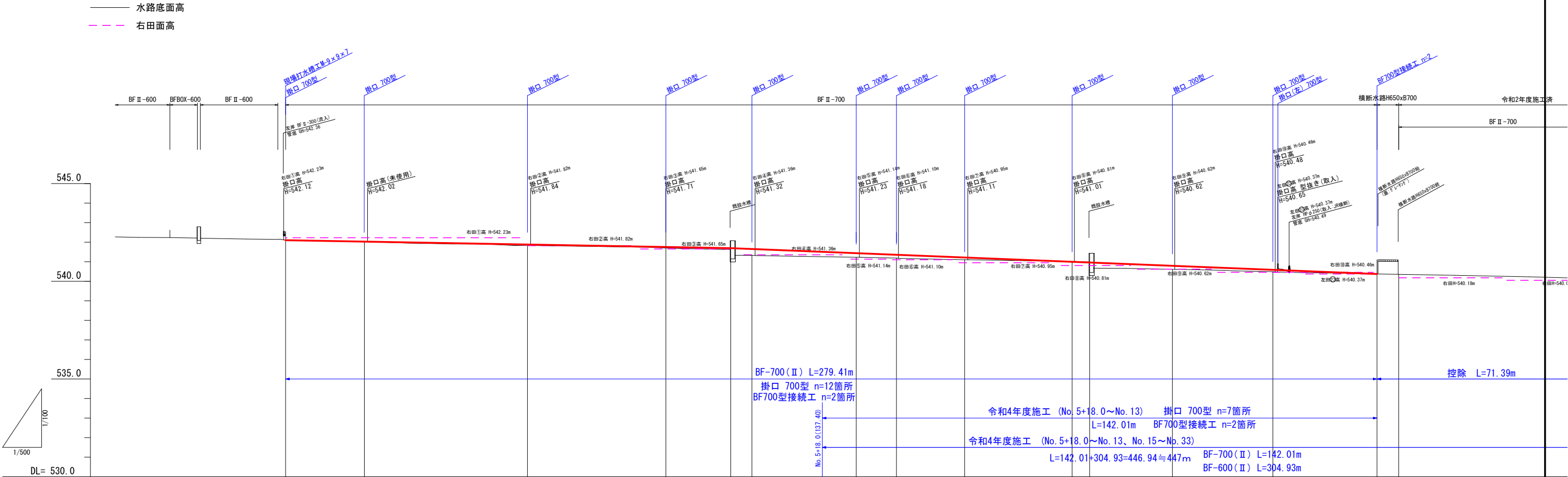
◎ 列車見張員については、監督員と協議のうえ変更対象とする。

◎ JR工事申請を「安曇野市」で行っている。  
施工前に、必ず監督員と協議を行い、注意事項等の確認を行うこと。



事業名	令和4年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業		
地区名	穂高地区 青木花見工区		
図面名称	縦断面図 (1/2)		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	2-1 / 7
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市（耕地林務課）		
施工			

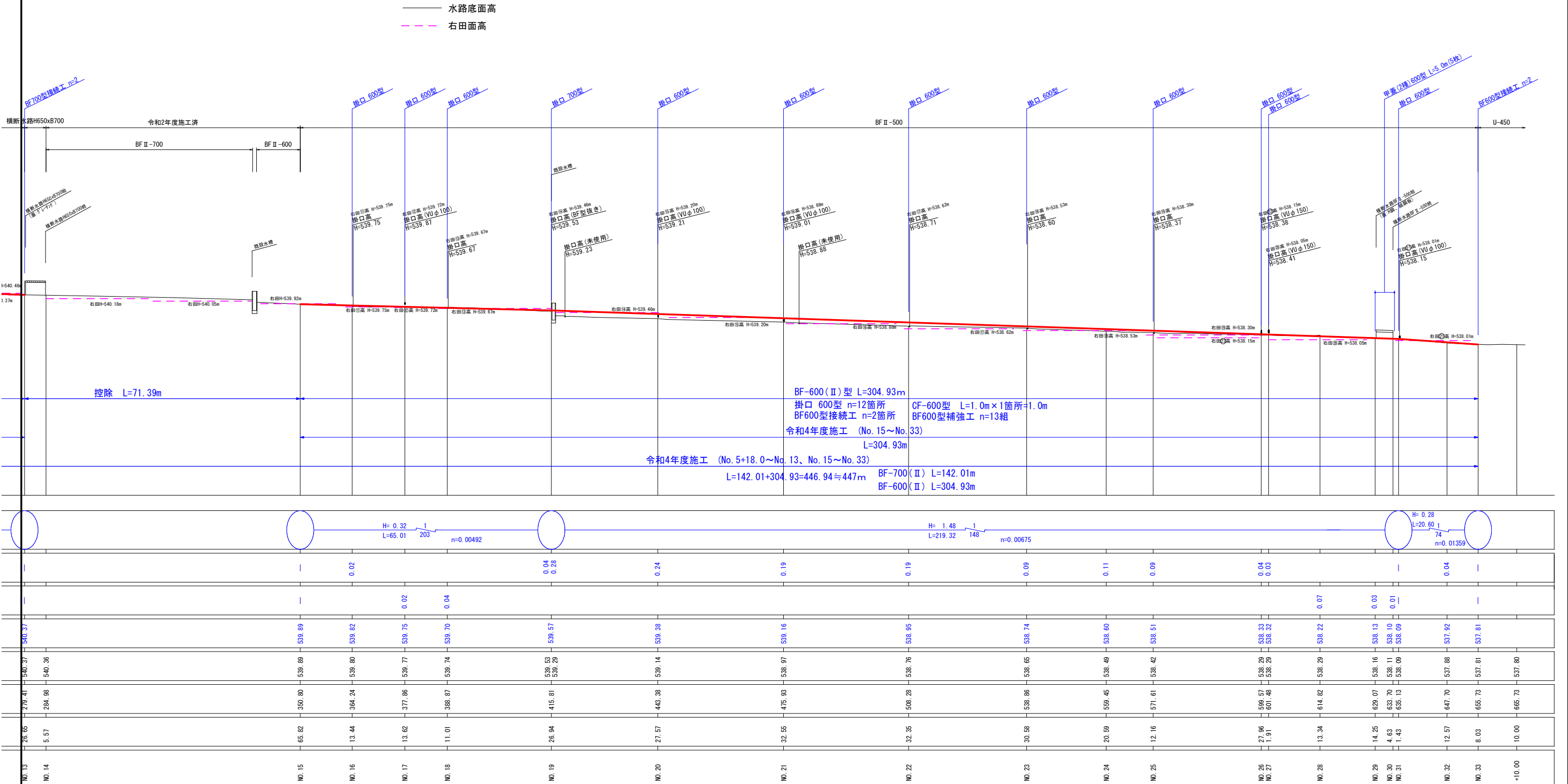
縦断面図



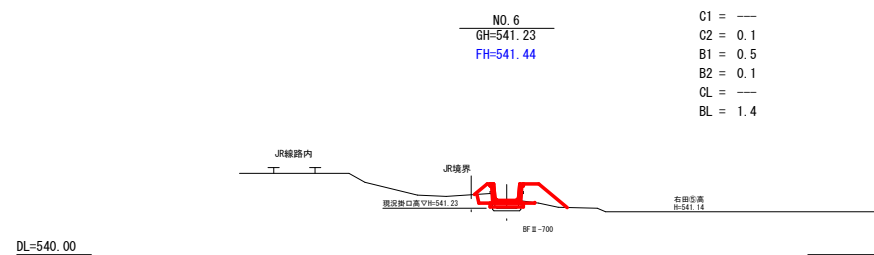
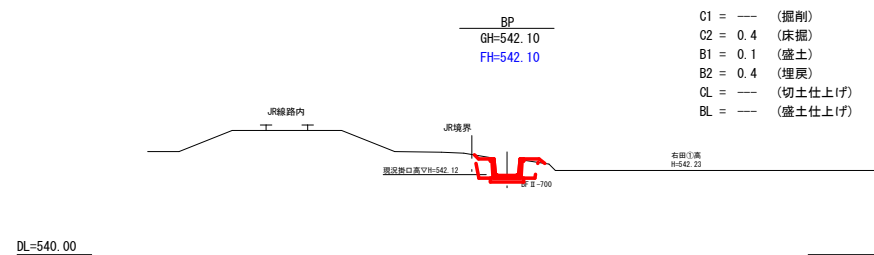
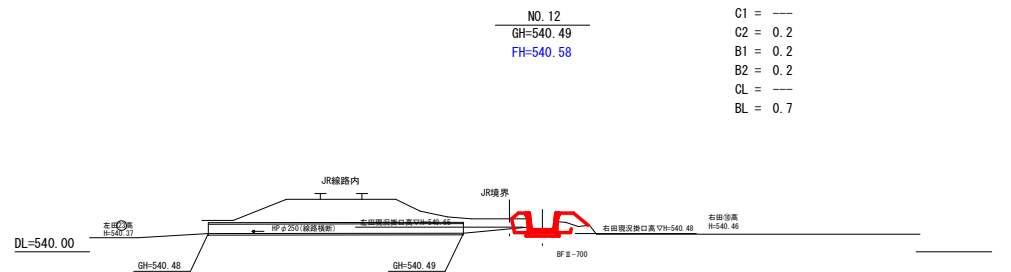
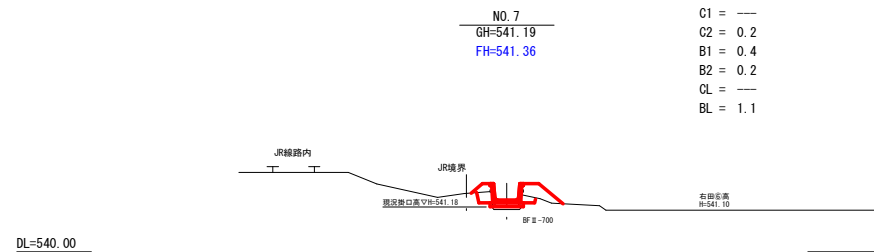
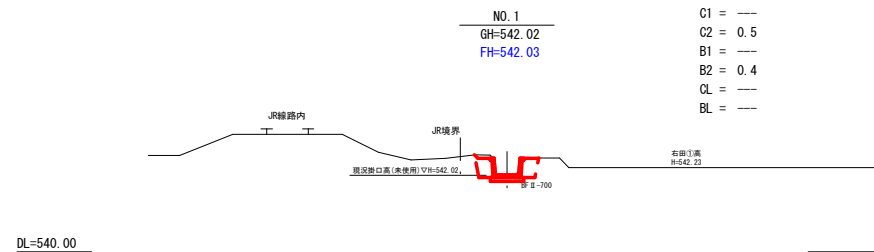
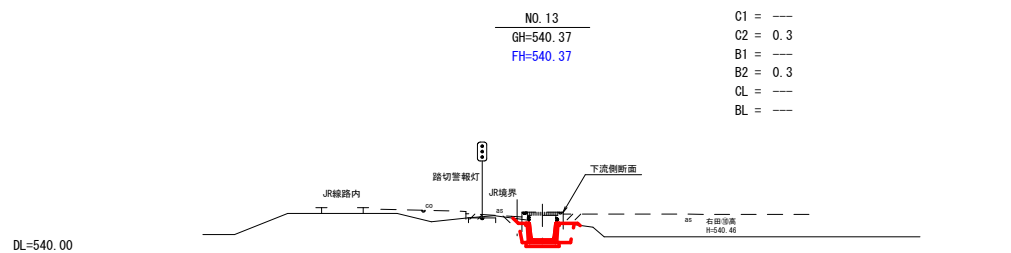
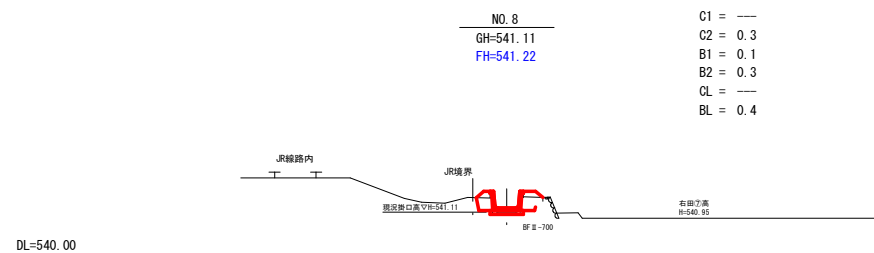
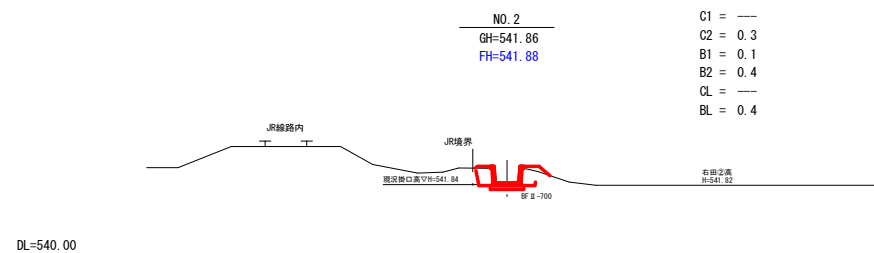
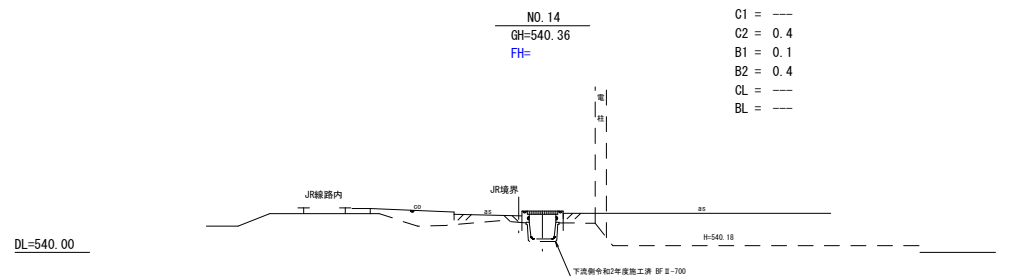
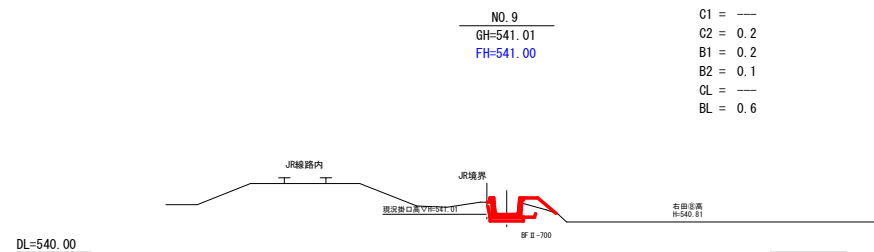
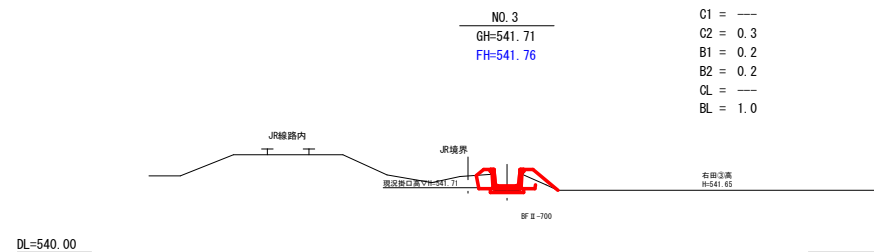
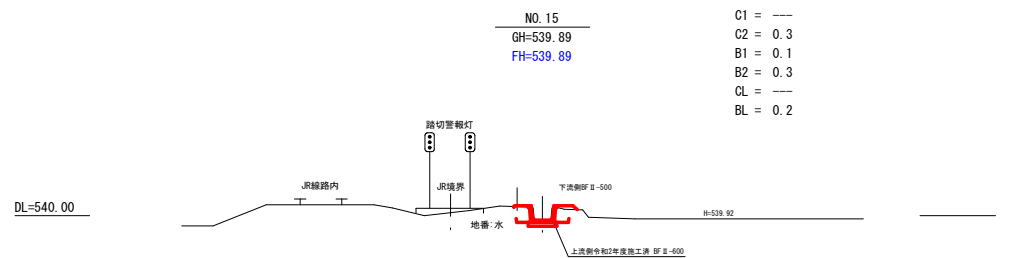
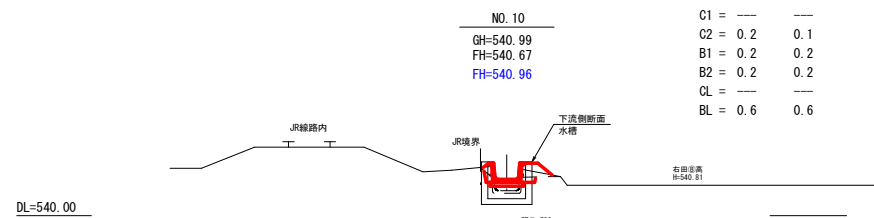
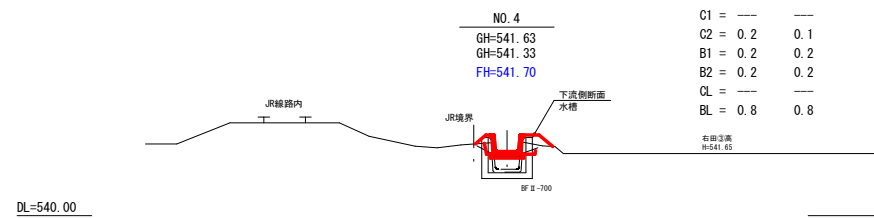
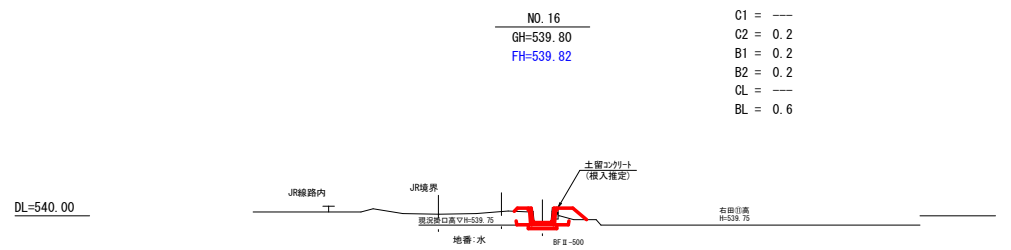
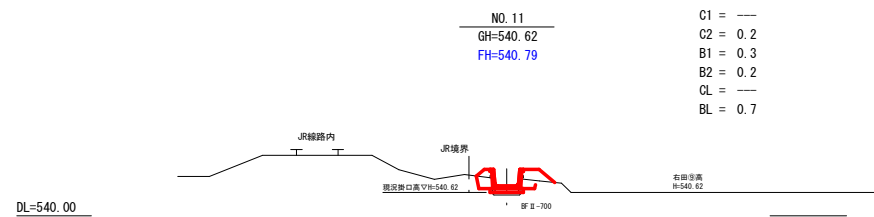
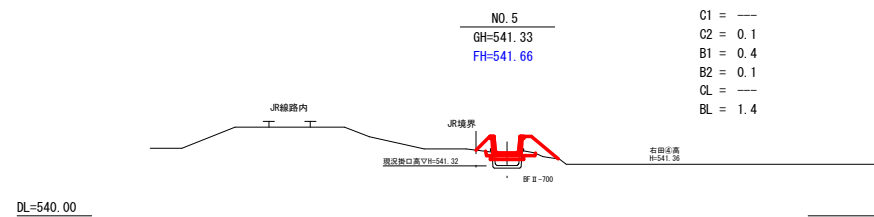
勾配図														
盛土		0.01	0.02	0.05	0.07 0.37	0.33	0.21	0.17	0.11	0.29	0.17	0.09		
切土										0.01 0.03				
計画高	542.10	542.05 542.03	541.88	541.76	541.70 541.33	541.66	541.52	541.44	541.36	541.22	541.00 540.96	540.79	540.58	540.37
地盤高	542.10	542.02	541.86	541.71	541.63 541.33	541.33		541.23	541.19	541.11	541.01 540.99 540.67	540.62	540.49	540.37 540.36
追加距離	0.00	20.14	61.92	97.36	113.96 119.40		146.09	156.38	173.85	201.33 205.84	227.03	252.76	279.41 294.98	
単距離	0.00	20.14	41.78	35.44	16.60 5.44		26.69	10.29	17.47	27.48 4.51	21.19	25.73	26.65 5.57	
測点名	RP	NO. 1	NO. 2	NO. 3	NO. 4 NO. 5		NO. 6	NO. 7	NO. 8	NO. 9 NO. 10	NO. 11	NO. 12	NO. 13 NO. 14	

### 縦断面図

事業名	令和4年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業		
地区名	穂高地区 青木花見工区		
図面名称	縦断面図 (2/2)		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	2-2 / 7
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市 (耕地林務課)		
施工			



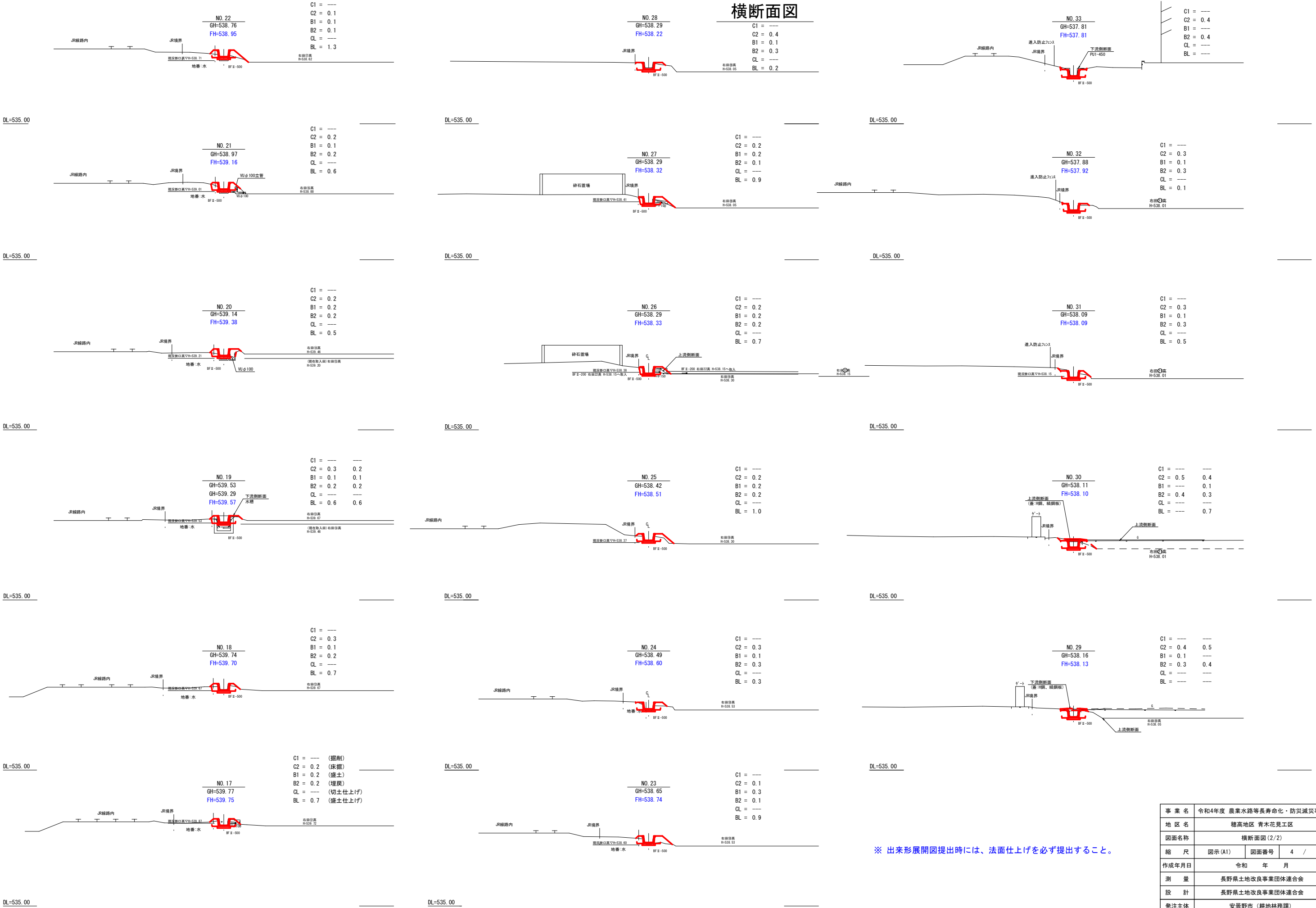
横断面図



※ 出来形展開図提出時には、法面仕上げを必ず提出すること。

事業名	令和4年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業		
地区名	穂高地区 青木花見工区		
図面名称	横断面図 (1/2)		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	3 / 7
作成年月日	令和      年      月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市（耕地林務課）		
施工			

横断面図



※ 出来形展開図提出時には、法面仕上げを必ず提出すること。

事業名	令和4年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業		
地区名	穂高地区 青木花見工区		
図面名称	横断面図 (2/2)		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	4 / 7
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市（耕地林務課）		
施工			



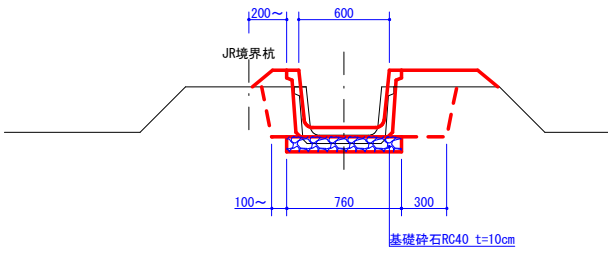
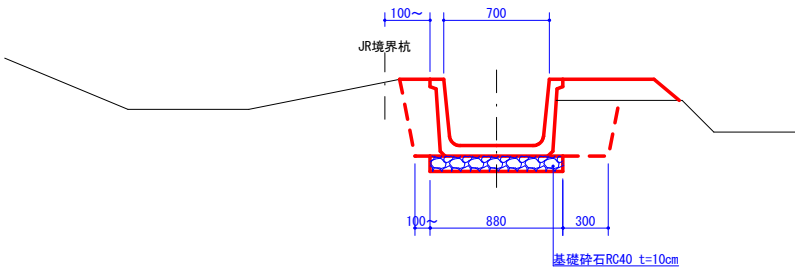
※特記

- ◎ JRの近接工事となる為、施工には充分に注意すること。
- ◎ 境界杭の紛失なき様に施工すること。

標準断面図・構造図 S=1/25 (A1)

( BP～No. 13 区間 )  
BF-700 (Ⅱ) 型

( No. 15～No. 33 )  
BF-600 (Ⅱ) 型

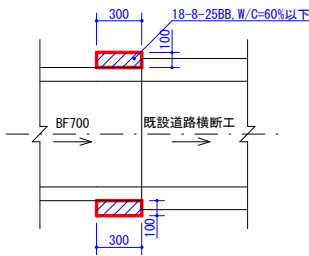


BF700接続工

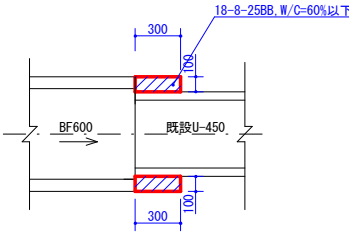
BF600接続工

BF600型補強工

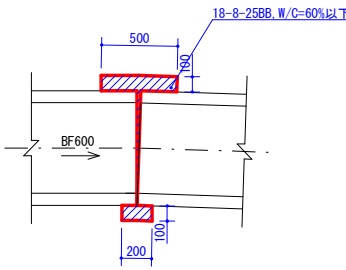
平面図



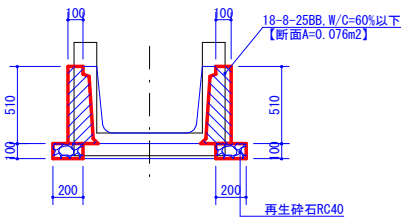
平面図



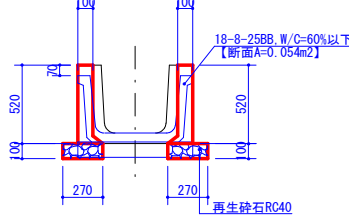
平面図



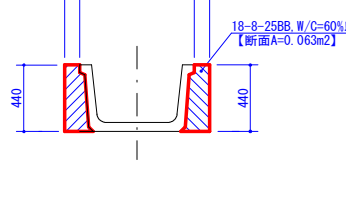
断面図



断面図



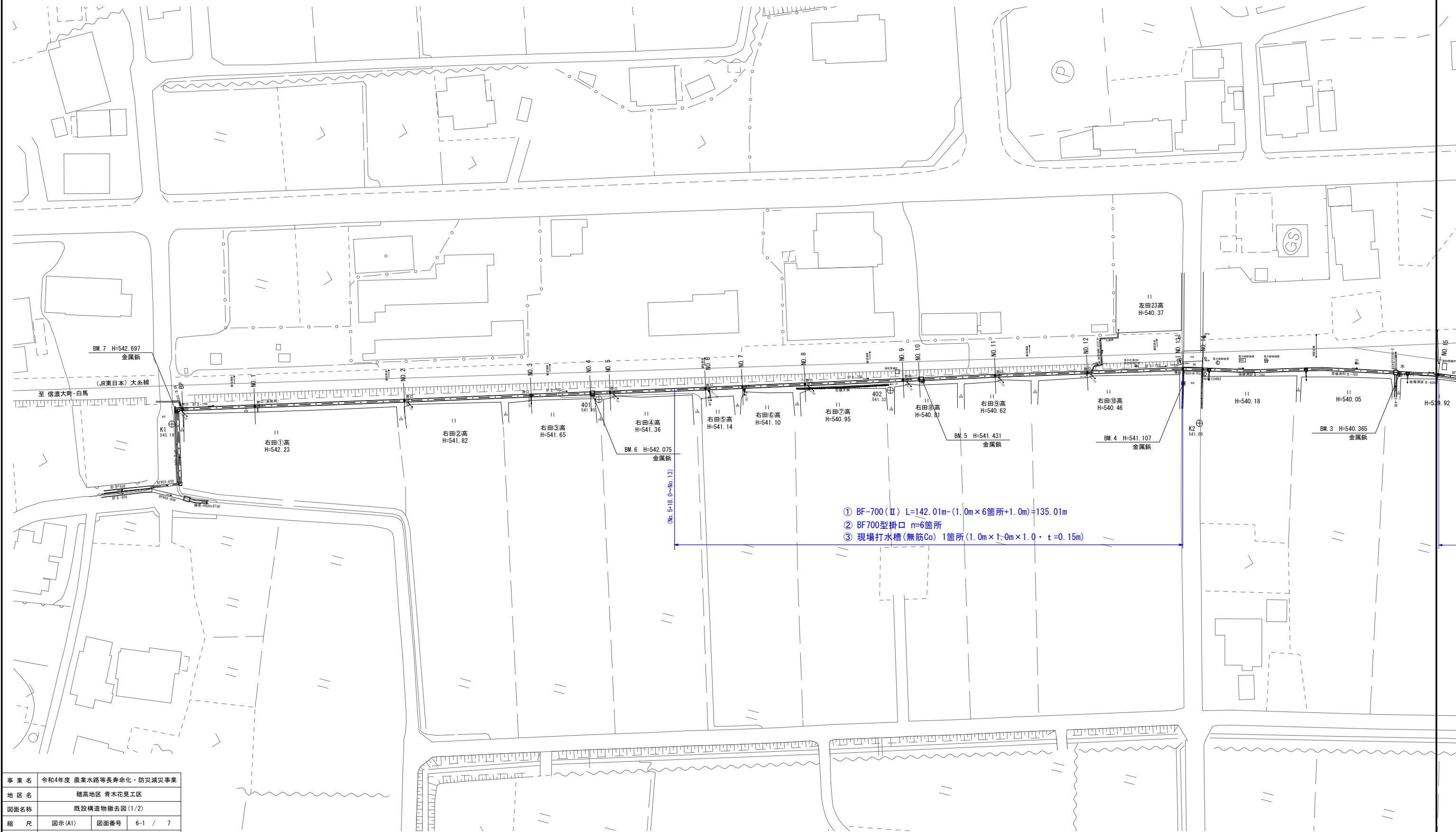
断面図



事業名	令和4年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業		
地区名	穂高地区 青木花見工区		
図面名称	標準断面図・構造図		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	5 / 7
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市 (耕地林務課)		
施工			

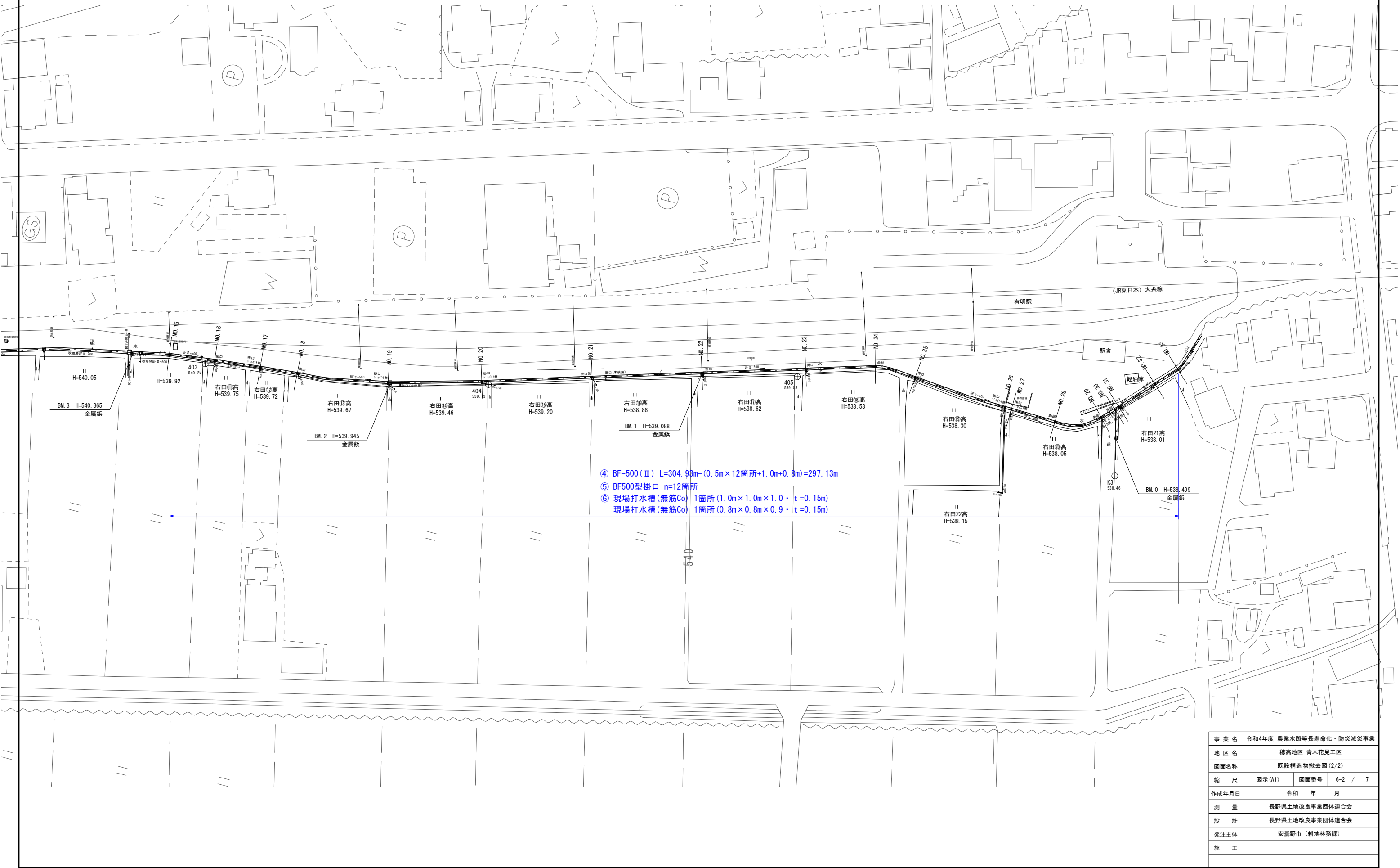


既設構造物撤去図 S=1/500



事業名	令和4年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業			
地区名	穂高地区 青木花見工区			
図面名称	既設構造物撤去図 (1/2)			
縮尺	図示(A1)	図面番号	6-1	/ 7
作成年月日	令和 年 月			
測量	長野県土地改良事業団体連合会			
設計	長野県土地改良事業団体連合会			
発注主体	安曇野市(耕地林務課)			
施工				

既設構造物撤去図 S=1/500



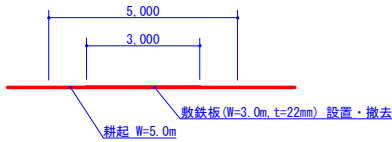
事業名	令和4年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業		
地区名	穂高地区 青木花見工区		
図面名称	既設構造物撤去図 (2/2)		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	6-2 / 7
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市 (耕地林務課)		
施工			

【※特記】

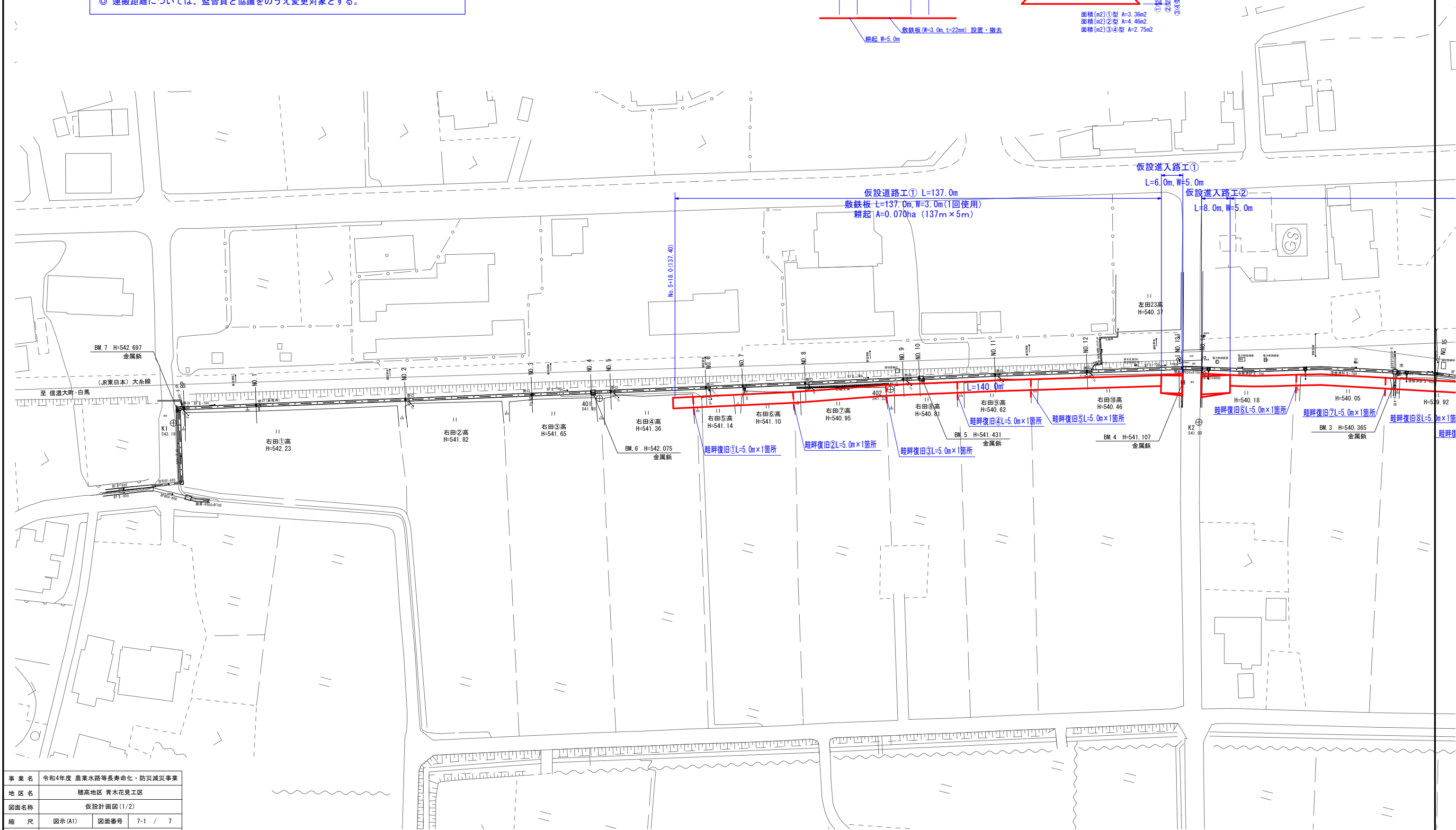
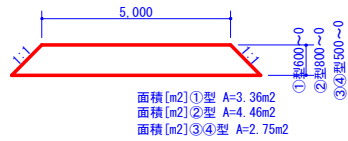
- ◎ 進入路造成に伴う不足土運搬については「2.0km」を想定している。
- ◎ 運搬距離については、監督員と協議をのうえ変更対象とする。

仮設計画図 S=1/500

仮設道路(敷鉄板) S=1/100 (A1)



仮設進入路工 S=1/100 (A1)



事業名	令和4年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業			
地区名	穂高地区 青木花見工区			
図面名称	仮設計画図 (1/2)			
縮尺	図示 (A1)	図面番号	7-1	/ 7
作成年月日	令和	年	月	
測量	長野県土地改良事業団体連合会			
設計	長野県土地改良事業団体連合会			
発注主体	安曇野市 (耕地林務課)			
施工				

【※特記】

- ◎ 進入路造成に伴う不足土運搬については「2.0km」を想定している。
- ◎ 運搬距離については、監督員と協議をのうえ変更対象とする。

敷設板 (W=3.0m, t=22mm) 設置・撤去

掘起 W=5.0m

5,000

3,000

5,000

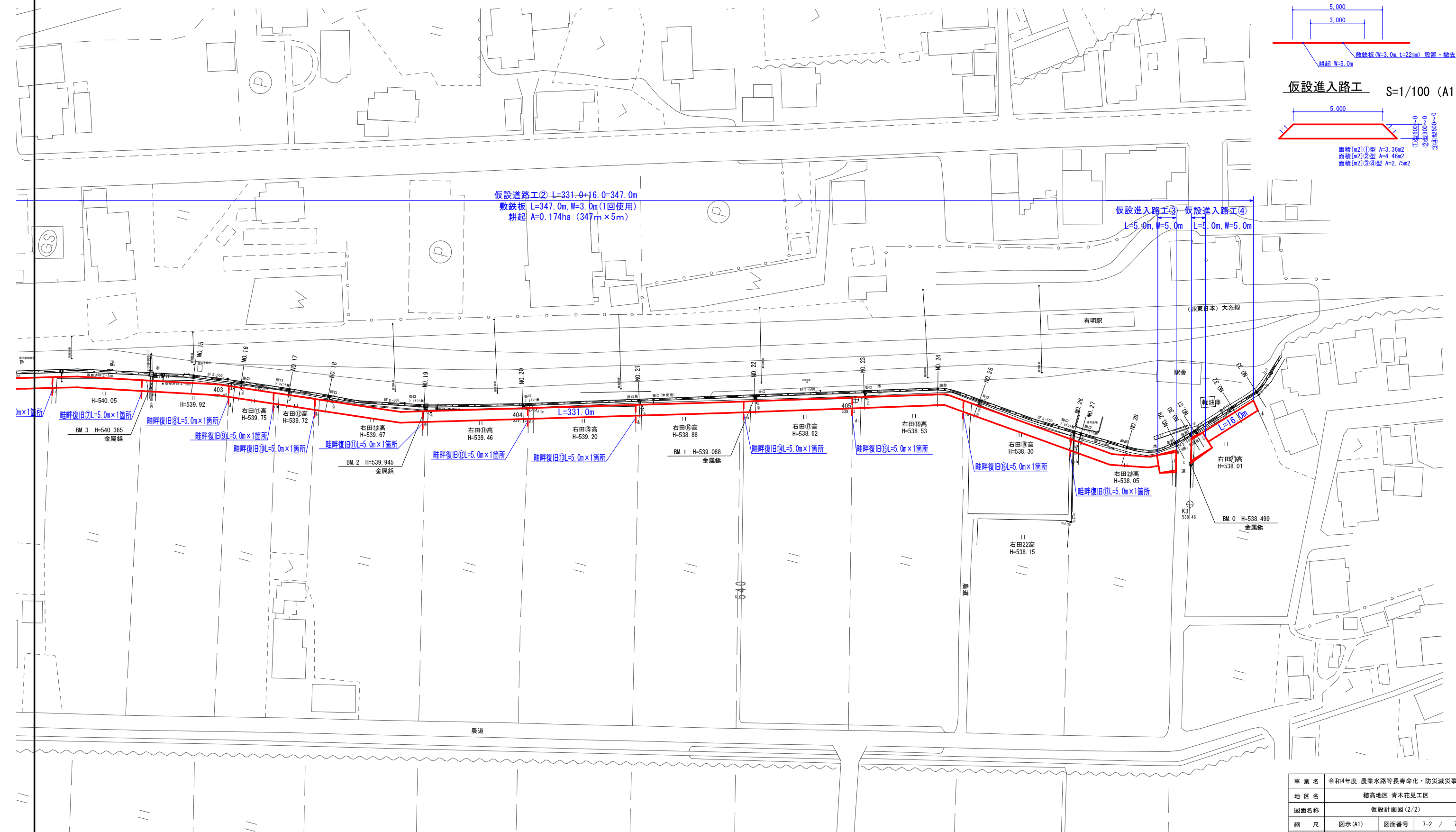
1:1

2:1

① 型 600~0  
② 型 800~0  
③ 型 500~0

面積 [m2] ①型 A=3.36m2  
面積 [m2] ②型 A=4.46m2  
面積 [m2] ③型 A=2.75m2

S=1/100 (A1)



事業名	令和4年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業		
地区名	穂高地区 青木花見工区		
図面名称	仮設計画面図(2/2)		
縮尺	図示(A1)	図面番号	7-2 / 7
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市(耕地林務課)		
施工			